

令和2～5年度使用

都立特別支援学校（小学部）用

教科書採択資料

（文部科学省検定済教科書）

令和元年7月

東京都教育委員会

発行者一覧

発行者	略称	発行者	略称
東京書籍株式会社	東書	光村図書出版株式会社	光村
大日本図書株式会社	大日本	株式会社帝国書院	帝国
開隆堂出版株式会社	開隆堂	株式会社新興出版社啓林館	啓林館
学校図書株式会社	学図	日本文教出版株式会社	日文
株式会社三省堂	三省堂	株式会社文教社	文教社
教育出版株式会社	教出	株式会社光文書院	光文
一般社団法人信州教育出版	信教	株式会社学研教育みらい	学研
株式会社教育芸術社	教芸	廣済堂あかつき株式会社	廣あかつき

目 次

国 語	1
書 写	3
社 会	6
地 図	8
算 数	11
理 科	13
生 活	15
音 楽	18
図画工作	20
家 庭	23
保 健	25
英 語	27
道 徳	29

視覚障害特別支援学校については、全盲の児童と弱視の児童が一緒に学習するため、点字版教科書が出版される種目については、点字教科書の原典となっている文部科学省検定済教科書を採択する必要があるので、採択資料は掲載していない。

小学部 国語(聴覚障害特別支援学校)

略 称		東 書	学 図	教 出	光 村
内 容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる单元等について ①聴覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	☆☆☆☆ 10箇所 ①3年下「言葉でつたえ合う」では、様々な伝え方の一つとして、文章と絵を用いて手話について説明している。(P85)	☆☆☆☆ 12箇所 ①1年上「ひらがなひろば」では、文字で「か→あ」「さ→あ」「た→あ」と示し、長く伸ばしたり短く切ったりして発音することについて説明している。(P20、21)	☆☆ 4箇所 ①4年下「『便利』ということ」では、聴覚障害者がチャイムの合図をライトで知る工夫についての記述がある。(P84、85)	☆☆ 5箇所 ①5年巻末付録では、手話に関する説明と指文字の一覧表の記載がある。(P252、253)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。 ②インタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの。 ③方言や特徴的な言い回し等を多用し、読解の際に説明が必要であるもの。	★★★★ 57箇所 ①6年「場面に応じた言葉づかい」では、電話による連絡について紹介されており、取り扱う際に困難がある。(P110) ②4年上「みんなで新聞を作ろう」では、インタビュー活動の際に補助的な手段が必要である。(P55) ③2年下「かさこじぞう」では、方言などの特徴的な言い回しが使われているため、読解の際に説明が必要である。(P81)	★★★★ 64箇所 ①2年上「音やよやすをあらわすことば」では、身の回りの音を言葉で表す活動があり、学習活動に困難がある。(P60) ②5年上「働く人にインタビュー」では、インタビュー活動の際に補助的な手段が必要である。(P62) ③3年下「言葉で遊ぼう」では、だじゃれ・パルが紹介されており、特徴的な言い回しが使われているため、活動をする際に説明が必要である。(P114)	★★★★ 66箇所 ①3年下「電話のかけ方」では、電話をかける時の要点が説明されており、学習活動の際に困難がある。(P142、143) ②1年下「学校のことをつたえあおう」では、メモを見ながら友達に伝える活動があり、補助的な手段が必要である。(P108) ③5年下「『古典』を楽しむ」では、古文特有の特徴的な言い回しが扱われているため、読解の際に説明が必要である。(P20)	★★ 31箇所 ①4年上「聞き取りメモのくふう」では、聞きながらメモをする活動があり、学習活動に困難がある。(P40、41) ②3年上「俳句を楽しもう」では、声に出して五・七・五のリズムを楽しむ活動があり、学習の際に特別な支援が必要である。(P85) ③6年「狂言『柿山伏』」では、狂言特有の特徴的な言い回しが扱われているため、読解の際に説明が必要である。(P165)
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。 ②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①5年「和の文化を受けつぐー和菓子をさぐる」では、身近にある、様々な和菓子や和菓子を作っている写真、和菓子に関する歴史年表などが示してある。(P144など) ②全学年において、単元末に、「言葉の力」として学習の要点が枠囲みで示してある。(1年下P135など)	①4年下「ドリームツリーを作ろう」では、将来の夢を叶えるために必要なことなどをまとめたドリームツリーの例を、図で視覚的に示してある。(P71) ②全学年において、「国語のカギ」として学習の要点が枠囲みで示してある。(6年下P83など)	①6年上「雪は新しいエネルギー」では、視覚的に示した図と対応する文の末尾に(図○)と表記してある。(P53) ②全学年において、「ここが大事」として学習の要点が枠囲みで示してある。(2年下P17など)	①1年上「うたにあわせてあいうえお」では、発音する際の口形が写真で示してある。(P22、23) ②全学年において、「たいせつ」として学習の要点が枠囲みで示してある。(2年下P126など)
参 考	神話や伝承を知り、日本の文化や伝統に関心を持たせる資料	あり	あり	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし	なし

小学部 国語(肢体・病弱障害特別支援学校)

略 称		東 書	学 図	教 出	光 村
内 容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①学校生活や社会生活に身近な題材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述等があるもの。	☆☆☆☆ 71箇所 ①5年「伝えたい、心に残る言葉」では、身近な人との会話の中で心に残っている言葉について話す題材を取り上げている。(P158) ②3年下「パラリンピックがめざすもの」では、足に障害のある水泳選手などを取り扱っている。(P13)	☆☆☆☆ 61箇所 ①5年下「学校を百倍すてきにしよう」では、学校生活について考える内容を取り上げている。(P26) ②4年下「さわっておどろく」では、ユニバーサルデザインの例として、ノンステップバスや多機能トイレなどを取り扱っている。(P85)	☆☆☆☆ 62箇所 ①1年上「なつのおもいでをはなそう」では、夏休みの出来事を思い出して発表する活動がある。(P94) ②4年下「新スポーツを考えよう」では、高齢者や身体が不自由な人も楽しめるスポーツを考える題材を取り扱っている。(P36)	☆☆☆☆ 69箇所 ①2年上「図書館たんけん」では、学校図書館における本の探し方について取り上げてある。(P28、29) ②5年「本の世界を広げよう」では、車椅子テニスや陸上競技など、車椅子に乗った人のスポーツに関する図書を紹介している。(P264)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。 ②病気の治療による運動制限から、経験できない体育的活動を扱った題材が取り上げられているもの。 ③各学年の児童数が少ないため、集団活動が含まれるなど取扱いが困難と思われる内容が取り上げられているもの。	★★★ 30箇所 ①2年下「声に出してみよう」では、一音に一回ずつ手を叩きながら、言葉进行活動があり、困難がある。(P96) ②4年上「走れ」では、運動会の短距離走を題材としており、学習の際に配慮が必要である。(P59) ③6年「話し合って考えを深めよう」では、グループに分かれて話し合う活動があり、児童数によっては取扱いが困難である。(P98)	★★★★ 53箇所 ①2年下「とべとべ回れ」では、紙とんぼの作成が取り上げられており、作成に伴う道具の使用や、実際に紙とんぼを飛ばして遊ぶ際に、上肢の操作性等から学習活動に困難がある。(P6) ②1年上「ともだちとはなそう」では、話題の例として縄跳びが取り上げられており、学習の際に配慮が必要である。(P28、29) ③3年上「クラスレクリエーションしよう」では、グループでの学習活動が取り上げられており、児童数によっては取扱いが困難である。(P84)	★★★★ 59箇所 ①5年上「わたしは木」では、言葉から連想したことを体で表現する活動があり、上肢の操作性等から学習活動に困難がある。(P8) ②4年下「自分の成長をふり返って」では、自分の成長を感じる場面の例としてマット運動を取り上げており、学習の際に配慮が必要である。(P104) ③6年上「地域の防災について話し合おう」では、パネルディスカッションを取り上げており、児童数によっては取扱いが困難である。(P66)	★★★ 36箇所 ①4年上「聞き取りメモのくふう」では、聞き取りながらボードを使用し、メモを取る活動が示しており、上肢の操作性等により学習活動に困難がある。(P40) ②3年上「山小屋で三日間すごすなら」では、川遊びや虫取り、山小屋で過ごすことなどを取り上げており、学習の際に配慮が必要である。(P116) ③1年下「ものの名まえ」では、言葉を使った遊びとしてお店屋さんごっこを取り上げており、児童数によっては取扱いが困難である。(P60)
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①通院等による学習空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②外出等の社会的経験の不足を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明されているもの。 ③ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①各単元の最後に、「言葉の力」として学習のポイントが枠囲みで簡潔に記してある。(2年下P39など) ②5年「和の文化について調べよう」では、様々な和菓子の写真や和菓子の発展に関する絵入りの年表が示してある。(P142、144、146) ③1年上「ひとつつながることば」では、学校生活の中で使う言葉が、絵を用いて見開きページで示してある。(P12、13)	①1年下から、単元ごとに、「国語の鍵」として学習のポイントが枠囲みで示してある。(1年下P11など) ②5年上「東京スカイツリーのひみつ」では、東京スカイツリーの構造等が写真や図で示してある。(P51) ③3年上「『百科事典』を引いて調べよう」では、百科事典の引き方を、見開きページで示してある。(P50、51)	①単元ごとに、「ここが大事」として学習のポイントが枠囲みで示してある。(2年上P33など) ②3年上「めだか」では、小川や池にいる生き物を、写真や絵で示してある。(P52) ③2年下「おもちゃのせつめい書を書こう」では、説明書の例を、見開きで示してある。(P72、73)	①各単元に、「たいせつ」として学習のポイントが枠囲みで示してある。(3年下P113など) ②6年「森へ」では、著者が訪れたカナダの原生林やその周辺にいる動物について、写真で示してある。(P83) ③3年上「きせつの言葉1 春のくらし」では、春に関連する詩や花や野菜のイラストを、見開きで示してある。(P36、37)
参 考	神話や伝承を知り、日本の文化や伝統に関心を持たせる資料	あり	あり	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし	なし

小学部 書写(視覚障害特別支援学校)

略 称		東書	学図	教出	光村	日文
内 容	視覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる单元等について ①触覚や聴覚等を活用して、体験的な活動を工夫できるものの。	☆☆ 12箇所 ①1年「たのしくかこう」では、文字を書く姿勢を擬音語で表現してある。(P2)	☆☆ 9箇所 ①3年「はじめの練習」では、毛筆の筆使いが擬音語で表現してある。(P9)	☆☆☆☆ 27箇所 ①1年「はじめのがくしゅう」では、文字を書く姿勢や鉛筆の持ち方が擬音語で表現してある。(P2～5)	☆☆☆ 14箇所 ・3年「漢字の筆使い」では、毛筆の筆使いが擬音語で表現してある。(P12)	☆☆ 8箇所 ①1年「とめ、はらい」では、平仮名の「とめ」や「はらい」を擬音語で表現してある。(P12)
	視覚障害への配慮を要する内容等について ①視覚を頼りに文字を見比べたり、探したりする活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	★ 1箇所 ①2年「画のつき方と交わり方」では、画のつき方について、細部を見比べる活動があり、配慮を要する。(P24)	★★ 3箇所 ①2年「生かして書こう」では、ためし書きとまとめ書きを見比べる活動があり、配慮を要する。(P8)	★ 2箇所 ①3年「5 すみのあつかいに気をつけて、あとかたづけをしよう。」では筆使いを表したイラストを比較する活動があり、配慮を要する。(P13)	★★★★ 9箇所 ①2年「画のつき方と交わり方」では、画がつくか、交わるかを見比べる活動があり、配慮を要する。(P20)	★ 2箇所 ①6年行の中心と字間・行間」では配列の異なる文章を読み比べる活動があり、配慮を要する。(P21)
構成上の工夫	国語との関連箇所	16箇所	16箇所	17箇所	18箇所	23箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①手本が大きく鮮明であるものの。	①6年「文字のいずみ 書きぞめをしよう」では、折り込み4ページ分の長さで毛筆の手本を示してある。(P51、52)	①3年「はじめの練習」では、ページ全体を使って毛筆の手本が示してある。(P8)	①3年「書きぞめ」では、折り込み4ページ分の長さで毛筆の手本を示してある。(P53)	①3年「書きぞめ」では、見開き2ページを使って毛筆の手本が示してある。(P38、39)	①5年「書きぞめ」では、折り込み4ページ分の長さで、毛筆の手本が示してある。(P49)

小学部 書写(聴覚障害特別支援学校)

略 称		東書	学図	教出	光村	日文
内 容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①身の回りの文字に関心をもてるように学習活動が工夫できるもの。	☆☆ 6箇所 ①6年「日本の文字の歴史」では、漢字の成り立ちをイラストで紹介している。(P38)	☆☆☆ 9箇所 ①1年「みのまわりのもじをさがそう」では、身の回りの様子のイラストに名称を付けて示してある。(P1)	☆☆☆☆ 14箇所 ①3年「文字の世界」では、活字の書体についてまとめてあり、手書き文字との違いを考えさせる内容が示してある。(P46)	☆☆☆☆ 12箇所 ①4年「漢字図かん」では、漢字の成り立ちがイラストで示してある。(P31)	☆☆☆ 9箇所 ①5年「書く速さのちがい」では、様々な生活場面での文字を書く速さについて考える活動が示してある。(P20)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について	なし	なし	なし	なし	なし
構成上の工夫	国語との関連箇所	16箇所	16箇所	17箇所	18箇所	23箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①手本やポイントが視覚的に分かりやすく示しているもの。	①4年「書きぞめをしよう」では、折込ページを使用して、手本が4ページ分の長さで示してある。(P52)	①3年「小筆の持ち方と使い方」では、小筆で書く時の姿勢や持ち方を写真で示してある。(P5)	①5年「文字の組み立て方(中と外)と、穂先の動き」では、筆使いや穂先の動きをイラストで示してある。(P13)	①6年「書きぞめ」では、折込ページを使用して、手本が4ページ分の長さで示してある。(P51)	①2年「筆記具の持ち方」では、鉛筆やフェルトペンの持ち方を写真で示してある。(P4)

小学部 書写(肢体・病弱特別支援学校)

略 称		東書	学図	教出	光村	日文
内 容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる单元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、補助的な手段等を活用した学習活動が工夫できるもの。	☆☆☆ 15箇所 ①1年「かくじゅんじょ」では、絵筆に水をつけて文字を書く活動が示してある。(P11)	☆ 4箇所 ①2年「点や画のつき方と交わり方」では、つき方、交わり方のイメージがイラストで示してある。(P26)	☆☆☆ 12箇所 ①1年「ひらがなのくしゅう」では、筆記具を用いずに、指でなぞる活動が示してある。(P8)	☆☆☆ 14箇所 ①3年「横画」では、筆使いと運筆の軌跡が写真で示してある。(P12)	☆☆☆☆ 21箇所 ①1年「かきじゅん」では、鉛筆で文字をなぞる前に、指で手本をなぞる活動が示してある。(P10)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。	★★★★ 17箇所 ①4年「行の中心と行間」では、無罪の枠内に文章を書く活動があり、配慮を要する。(P33)	★★ 7箇所 ①1年「たしかめてかこう」では、シールを貼る活動があり、配慮を要する。(P10)	★★ 5箇所 ①3年「力の入れ方(筆圧)をかわて、いろいろな太さの線を書いてみよう」では、力の入れ方を変えて、違う太さで横線を書く活動があり、配慮を要する。(P9)	★★ 5箇所 ①1年「しよしゃたいそう」では、手を開閉する活動があり、上肢の操作を伴うため配慮を要する。(P2)	★★ 6箇所 ①3年「筆圧」では、力の入れ方を変えて、違う太さで横線を書く活動があり、配慮を要する。(P11)
構 成 上 の 工 夫	国語との関連箇所	16箇所	16箇所	17箇所	18箇所	23箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視の困難を補えるように、手本が大きいもの。 ②画数や字数が少ないもの。 ③ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①4年「書きぞめをしよう」では見開き2ページ分の長さで毛筆の手本が示してある。(P28、29) ②3年「たて画」と「点」では、画数が少なく、「縦画」と「点」の要素が入った文字を扱っている。(P10) ③5年「世界の文字いろいろ」では、見開きで世界の文字が紹介されている。(P38、39)	①4年「点画の交わり方と接し方」では、ページ全体を使用して、毛筆の手本が示してある。(P18) ②3年「おれとはね」では、画数が少なく、「おれ」と「はね」の要素が入った文字を扱っている。(P16) ③6年「ほ先の動きと点画のつながり」では、見開きで、手本と点画のつながりの図解を並べて示してある。(P20、21)	①3年「横画の筆使い」では、ページ全体を使って、毛筆の手本が示してある。(P11) ②3年「「おれ」と「はね」の筆使い」では、画数が少なく、「おれ」と「はね」の要素が入った文字を扱っている。(P24) ③4年「レッツトライ 理科のノート」では、ノートのまとめ方を見開きで示してある。(P26、27)	①4年「書きぞめ」では、見開き2ページ分の長さで毛筆の手本が示してある。(P32、33) ②3年「点 はね」では、画数が少なく、「点」と「はね」の要素が入った文字を扱っている。(P24) ③1年「ひらがなあつまれ」では、平仮名が50音順に見開きで示してある。(P20、21)	①3年「そり」ではページ全体を使って毛筆の手本が示してある。(P29) ②1年「年がじょうをかこう」では、平仮名10文字の年賀状の文例が示してある。(P30) ③2年「原こう用紙に書こう」では、原稿用紙の使い方が見開きで示してある。(P22、23)

小学部 社会(聴覚障害特別支援学校)

略 称		東 書	教 出	日 文
内 容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①実際に経験したり調べたりするなど、聴覚障害を補う学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	☆☆☆☆ 17箇所 ①5年上「水産業のさかななちいき」では、プレゼンテーションソフトを使ってまとめる活動が示してある。(P108) ②5年下「情報を上手に生かす」では、手話通訳や文字情報のイラストが示してある。(P66)	☆☆☆ 15箇所 ①4年「水はどこから」では、水の通り道をすごろくで表す活動が示してある。(P71) ②5年「未来をつくり出す工業生産」では、聴覚障害のある人が工場で働く様子を写真で示してある。(P135)	☆☆☆☆ 20箇所 ①4年「ごみをへらすために」では、市役所の方に質問をする際、メールを活用する工夫が示してある。(P40) ②5年「放送局のはたらき」では、地上デジタル放送の特色として、障害者が情報を得られることが示してある。(P205)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①音声情報を必要とする見学等の活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの。	★★★ 41箇所 ①3年「店ではたらく人」では、店で働く人や訪れた客にインタビューし、意見を聞き取る活動があり、学習の際に特別な支援が必要である。(P79、82)	★★★ 36箇所 ①3年「はたらく人とわたしたちのくらし」では、農家の仕事を見学し、インタビューする活動があり、学習の際に特別な支援が必要である。(P82)	★★★★ 65箇所 ①3年「あんぜんなくらしをまもる」では、交通指導員にインタビューを行う活動があり、学習の際に特別な支援が必要である。(P109)
構 成 上 の 工 夫	本文の文字サイズ	3年最初 18ポイント 6年最後 14ポイント	3年最初 16ポイント 6年最後 14ポイント	3年最初 18ポイント 6年最後 16ポイント
	1ページの基本的な文字数	3年最初19字×13行 6年最後23字×17行	3年最初23字×9行 6年最後25字×16行	3年最初21字×11行 6年最後24字×21行
	ふりがな	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有
	折り込み図版ページ の箇所数	11箇所	11箇所	8箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①6年歴史編「今に伝わる室町文化」では、建築様式の違いが写真で示してある。(P57) ②4年「ごみのしよりと利用」では、欄外に、「ことば」として枠囲みで重要語句の解説を示してある。(P67)	①4年「地域で受けつがれてきたもの」では、阿波踊りの様子が、折込を用いてページ全面に写真で示してある。(P117) ②5年「水産業がさかなな地域」では、「この時間の問い」として、本文とは別に強調して示してある。(P88)	①5年「米作りのようす」では、作業の内容、稲の状態などが、写真、イラスト、解説文でまとめて示してある。(P82) ②5年「めぐまれた漁場」では、本文中に太字で示された学習のポイントになる語句を、「キーワード」として欄外の枠囲みで示してある。(P94)
参 考	我が国の位置と領土の扱い	あり	あり	あり
	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり
	神話や伝統を知り、日本文化や伝統に関心をもたせる資料	あり	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり
	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりについての扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

小学部 社会(肢体・病弱障害特別支援学校)

略 称		東 書	教 出	日 文
内 容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる单元等について ①学校内や学校周辺で、身近に体験できる学習活動が示されているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。	☆☆☆ 29箇所 ①4年「住みよいくらしをつくる」では、学校の中で水に係るものを探る活動が示してある。(P36) ②6年政治・国際編「子育て支援の願いを実現する政治」では、障害のある人の自立支援施設に関する記述がある。(P45)	☆☆☆☆ 57箇所 ①3年「農家の仕事」では、地産地消を学ぶために、学校栄養士の話聞く活動が示してある。(P79) ②5年「自動車の生産にはげむ人々」では、自動車づくりの紹介として、ユニバーサルデザインや手だけで運転操作できる自動車の記述がある。(P134、135)	☆☆☆ 33箇所 ①3年「安全なくらしを守る人びとの仕事」では、学校の消防設備のある場所を調べる活動が示してある。(P102) ②5年「情報を生かして発展する産業」では、医療情報が共有できる「アザレアネット」の記述がある。(P228)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①補助用具や補助的手段を活用しても、見学や体験的な活動に困難が想定されるもの。	★★★★ 37箇所 ①3年「はたらく人とわたしたちのくらし」では、お菓子工場に見学に行く活動があり、取扱いに配慮を要する。(P56)	★★★★ 49箇所 ①4年「ごみはどこへ」では、ごみの収集の様子を観察する活動があり、取扱いに配慮を要する。(P32)	★★★ 30箇所 ①4年「わたしたちの県のように」では、県のかたちを紙粘土で作る活動が示されており、取扱いに配慮を要する。(P10)
構成上の工夫	折り込みページの箇所数	11箇所	11箇所	8箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視の困難を補えるように、各単元の要点等が大きな文字や枠囲みで記されているもの。 ②通院等による学習空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ③写真、図表等で視覚的に説明されているもの。 ④ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①6年歴史編「貴族のくらし」では、「年中行事」について、太字で示され、説明が枠囲みで記してある。(P40) ②6年歴史編「世界に歩みだした日本」では、歴史上の人物がカードに整理する形式でまとめられるようになっている。(P126) ③5年下「情報産業とわたしたちのくらし」では、テレビのニュース番組を作るまでの一連の工程が、写真で示してある。(P64) ④4年「ごみのしよりと利用」では、清掃工場の仕組みとして、ごみ収集車が清掃工場に到着するところからごみが焼却されるまでの工程が、見開きのイラストで示してある。(P60、61)	①6年「憲法とわたしたちの暮らし」では、「日本国憲法」について、太字で示され、文や写真で説明が記してある。(P12) ②6年「明治の新しい国づくり」では、単元の最後で幕府が倒れる前と後の世の中の動きを、年表の穴埋め形式でまとめられるようになっている。(P178) ③3年「工場ではたらく人と仕事」では、しゅうまいができるまでの一連の工程が写真で示してある。(P68) ④5年「情報を伝える人々とわたしたち」では、ニュース番組放送までの、記者、編集、アナウンサーの仕事が、見開きの時系列で示してある。(P176、177)	①6年「大昔のくらしとくにの統一」では、「弥生時代」について、太字で示され、文や写真で説明が記してある。(P61) ②6年「わたしたちの願いと政治のはたらき」では、ノートを模した背景イラストの上に、学習のまとめが示してある。(P37) ③4年「くらしのなかに伝わる願い」では、地域の建築物や風俗についての写真と、その解説文をまとめて示してある。(P104、105) ④5年「米作りのさかんな地域」では、作業の内容、稲の状態などが、見開きで写真とともに示してある。(P82)
参 考	我が国の位置と領土の扱い	あり	あり	あり
	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり
	神話や伝統を知り、日本文化や伝統に関心をもたせる資料	あり	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり
	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりについての扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

小学部 地図(視覚障害特別支援学校)

略 称		東 書	帝 国
内 容	視覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる内容等について ①保有する視力の活用により、地図の使用が工夫できるもの。	☆☆☆☆ 4箇所 ①世界と日本の主な建造物の高さをまとめて記載してある。(P82) ・統計は行ごとに色をぬり分けて示してある。(P85)	☆☆☆☆ 5箇所 ①「地図のやくそく」では、方位の学習をする際、教室を例として、各方位の方向を示してある。(P9) ・「世界と地球儀」では、大陸を色分けして示してある。(P73、74)
	視覚障害への配慮を要する内容等について ①視覚を頼りに見比べたり探したりする等の活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	★★★★ 12箇所 ①「くわしく見る地図の範囲」を示す枠が薄い色で表示されている。(P23) ・トレーシングペーパーで書き写す活動は配慮が必要である。(P56)	★★ 5箇所 ①トレーシングペーパーで書き写す活動は配慮が必要である。(P74) ・京都市中心部の「空から見た京都市中心部」では、写真と文字が重ねて表示されている。(P50)
構成上の工夫	ふりがな	地名等には全て有	全て有
	折り込みのページの箇所数	4箇所	3箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①各頁の構成が統一されており、全体の把握が容易であるもの。 ②視覚の障害を補えるように、図表等には、説明文が付けられているもの。 ③文字、図や絵等が大きく鮮明であるもの。	①都道府県名、国名の色が統一して示してある。 ②グラフが大きく、説明がある。(P69) ③折り込み3ページ分の幅で、日本地図が示してある。(P17～19及びP20～22)	①見開き方向がほぼ統一されている。 ②グラフの見方を説明してある。 ③地図上の県名が大きな文字で表示してある。(P53など)
参 考	我が国の位置と領土の扱い	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし

小学部 地図(聴覚障害特別支援学校)

略 称		東 書	帝 国
内 容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる内容等について ①地図や図表等を見比べて調べたり、生活経験を広げたりするなど、聴覚障害を補う学習活動が工夫できるもの。	☆☆☆ 18箇所 ①「アジア」では、日本に向かうタンカーの航路をたどっていく活動がある。(P60) ・「くらべてみよう日本と世界」では、山や建物の高さ、湖や島の広さなどを同じ縮尺で示してある。(P81、82)	☆☆☆☆ 35箇所 ①「地図マスターへの道」がページごとにあり、調べる活動や注目させる活動がある。また地図の見方や考え方を広げる発問がある。(地図全ページ) ・「日本の自然のようす(1)」では、日本の代表的な山や川、湖をそれぞれ、同じ縮尺で示してある。(P88)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について	なし	なし
構成上の工夫	ふりがな	地名等には全て有	全て有
	折り込みのページの箇所数	4箇所	3箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。	①「国の領土と海」では、断面図のイラストで地図の語句の意味を示してある。(P15) ・「日本の歴史」では、歴史の学習に登場する人物の出身地や、日本までの航路を示してある。(P75)	①「都道府県の名前と位置」では、都道府県の形を類似する形で示したり、都道府県を表す手話を示したりしてある。(P115) ・「日本の首都・東京」では、歴史的な建物や商業施設、公共施設などがイラストで示してある。(P61)
参 考	我が国の位置と領土の扱い	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし

小学部 地図(肢体・病弱障害特別支援学校)

略 称		東 書	帝 国
内 容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる内容等について ①地図や図表等を見比べて調べるなど、生活経験の不足等を補えるような学習活動が工夫できるもの。	☆☆☆ 8箇所 ①アフリカ大陸のページでは、実際に生息している動物の写真やイラストが示してある。(P62) ・日本の自然災害のページでは、日本各地で発生した自然災害について、地図上に発生場所が示され、災害の種類ごとに写真と説明が示してある。(P97)	☆☆☆☆ 11箇所 ①「地図のやくそく(1)方位」では、教室等身近な場での方向を例にして示してある。(P9) ・日本の主な山の高さや湖の広さなどを同じ縮尺で示してある。(P88)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、補助用具や補助的手段を活用しても、計測等の作業に困難が想定されるもの。	★★★★ 8箇所 ①地図上の2点の長さを計測する活動があり、取扱いの際に配慮が必要である。(P18)	★★★ 6箇所 ①地図上の線を指でなぞる活動があり、取扱いの際に配慮が必要である。(P22)
構成上の工夫	ふりがな	地名等には全てあり	全てあり
	折り込みのページの箇所数	4箇所	3箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視の困難を補えるように、要点等が大きな文字や枠囲みで記されているもの。 ②ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①「地球儀を使って調べる」では、地球儀の使い方が活動ごとに大きな写真や枠囲みで記載されている。(P55) ②「日本の産業」では、水産業、農業、工業を見開きで示してある。(P71)	①「地球儀を使おう」では、地球儀の使い方が活動ごとに大きな写真や枠囲みで記載されている。(P73) ②「日本の自然のようす(2)気候」では、見開きで冬と夏の気温や降水量などの特徴を色分けしたり、模式図やグラフなどで示したりしてある。(P89、90)
参 考	我が国の位置と領土の扱い	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし

小学部 算数(聴覚障害特別支援学校)

略 称		東 書	大日本	学 図	教 出	啓 林 館	日 文
内 容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。	☆☆☆☆ 29箇所 ①1年②の「あわせていくつ」では、ブロックを実際に動かす活動と視覚的な動作が示してある。(P3)	☆☆☆☆ 28箇所 ①3年「わり算」では、トレーのイラストを掲載し、その上におはじきなどを実際に分ける活動を取り上げている。(P61)	☆☆☆☆ 35箇所 ①4年上「垂直・平行と四角形」では、身の回りにある垂直なものや平行なものを探す活動が取り上げられている。(P81)	☆☆☆☆ 30箇所 ①3年上「長さ」では、まきじやくを使って、教室の長さや水筒の周囲の長さなどを実際に測定する活動がある。(P68)	☆☆☆☆ 33箇所 ①3年上「重さ」では、ペットボトル飲料やカバンなど、身の回りの物品の重さを量る活動が示してある。(P118、119、120)	☆☆☆☆ 36箇所 ①3年上「時間の計算と短い時間」では、ストップウォッチを使って10秒間や30秒間などを体験する活動が取り上げられている。(P45)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、作業や体験等の学習活動に困難が想定されるもの。	★ 1箇所 ①5年下「いかしてみよう」では、雷が光ってから音が聞こえるまでの時間で、距離を計算する活動があり、困難がある。(P40)	★★★★ 6箇所 ①1年「10までの数」では、声に出して言う活動があり、困難がある。(P27)	★ 1箇所 ①5年上「倍数と約数」では、友達と手をたたくことで公約倍数を体験する活動があり、困難がある。(P130)	★ 1箇所 ①5年「単位量あたりの大きさ」では、雷が光ってから音が聞こえるまでの時間で、距離を計算する活動があり、困難がある。(P281)	★★★ 4箇所 ①3年上「短い時間」には、歌を歌う活動が示されており、困難がある。(P57)	★★ 3箇所 ①1年上「いくつといくつ」では、タンバリンをたたいた数と同じ人数で集まる活動が示されており、困難がある。(P33)
構 成 上 の 工 夫	本文の文字の大きさ	1年最初 20ポイント 6年最後 12ポイント	1年最初 19ポイント 6年最後 10.5ポイント	1年最初 19ポイント 6年最後 13ポイント	1年最初 18ポイント 6年最後 12ポイント	1年最初 20ポイント 6年最後 14ポイント	1年最初 17ポイント 6年最後 13ポイント
	1ページの基本的な文字数	1年最初 22文字×3行 6年最後 26文字×12行	1年最初 18文字×16行 6年最後 32文字×26行	1年最初 19文字×15行 6年最後 35文字×19行	1年最初 16文字×3行 6年最後 26文字×16行	1年最初 12文字×2行 6年最後 26文字×14行	1年最初 18文字×14行 6年最後 30文字×25行
	欄外の文字の大きさ	1年 16ポイント 6年 9.5ポイント	1年 13ポイント 6年 9ポイント	1年 12ポイント 6年 9ポイント	1年 12ポイント 6年 9.5ポイント	1年 16ポイント 6年 10ポイント	1年 12ポイント 6年 8.5ポイント
	ふりがな	初出有	初出有	初出有	初出有	初出有	初出有
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①3年下「三角形と角」では、図で学習のポイントを示し、さらに図形の中で、説明文に対応した箇所に色を付けて示してある。(P84) ②5年下「四角形と三角形の面積」では、学習のポイントが図、公式でまとめられ、さらに重要語句は太字や下線で強調して示してある。(P61)	①4年「式と計算」では、言葉の式を併記している。(P75) ②2年から6年までの巻末に、前学年までの既習事項をまとめて示してある。	①1年上「のこりはいくつ、ちがいはいくつ」では、文章題の内容を絵で示してある。(P54) ②各単元のポイントを「まとめ」として、枠囲みで示してある。(2年上P82など)	①5年「分数の意味」では、図やイラストで分数の意味を示してある。(P163) ②各単元に、学習のポイントが背景色をつけた枠囲みで示してある。(4年上P94など)	①4年上「2けたでわるわり算のひっ算」では、数字の計算を10円玉のイラストで示してある。(P105) ②2年上から6年まで、巻末に既習事項や重要語句が簡潔な文、イラスト等でまとめて示してある。	①4年下「面積」では、1cm ² の面積を、指に乗せた実物大の工作用紙の写真で示してある。(P43) ②5年上「小数のかけ算」では、筆算の方法を背景色を付けた枠囲みで示してある。(P63)

小学部 算数(肢体・病弱障害特別支援学校)

略 称		東 書	大 日 本	学 図	教 出	啓 林 館	日 文
内 容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであって、教材や補助的手段等を活用して、学習活動が工夫できるもの。 ②生活に結び付いた学習活動が示されているもの。	☆☆ 26箇所 ①1年②「なんじなんぶん」では、代替の手立ての工夫ができる。(P109) ②4年下「箱の形の特ちょうを調べよう」では、身の回りにある箱を分類する活動がある。(P107)	☆☆☆ 46箇所 ①1年「かずしらべ」では、野菜の数だけ色を塗る活動で、代替の手立ての工夫ができる。(P69) ②2年「数のしくみをしらべよう」では、マンションの部屋番号を使って位置を考える活動が示してある。(P75)	☆☆☆☆ 53箇所 ①2年下「2年の復習をしよう」では、リング移しの活動で工夫ができる。(P123) ②1年下「くらべてみよう」では、テープを使って机の高さや教室のドアの幅を測って比べる活動が示してある。(P25)	☆☆☆☆ 56箇所 ①3年下「どんな三角形ができるかな」では、ストローを使って三角形を作る活動で、手立てが工夫できる。(P50) ②1年「いくつかな」では、身の回りにある数を探す活動が示してある。(P22～23)	☆☆☆☆ 69箇所 ①4年上「垂直・平行と四角形」では、平行四辺形の厚紙を敷き詰める活動で、工夫することができる。(P83) ②5年「速さ」では、身の回りの乗り物の速さを計算する活動が示してある。(P225)	☆☆☆ 51箇所 ①2年上「水のかさをはかるう」では、水筒の水を移し替える活動で、補助具が活用できる。(P96) ②3年上「円と球」では、身の回りにある円形や球体を探す活動が示してある。(P128)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。	★★★ 53箇所 ①6年「対称な図形」では、折りたたんだ紙を切り抜く活動があり、困難がある。(P21)	★★ 34箇所 ①4年「垂直・平行と四角形」では、三角定規を二つ使用し作図する活動に困難がある。(P89)	★★★★ 54箇所 ①5年下「いろいろな形の性質を調べよう」では、缶の側面に紙を巻き付け、それをもとに展開図を作図する活動に困難がある。(P129)	★★★ 36箇所 ①6年「対称な図形」では、線対称な図形を作図する活動に困難がある。(P42)	★★★ 46箇所 ①2年下「はこの形」では、切り取った紙を箱に貼る活動に困難がある。(P100)	★★★★★71箇所 ①5年上「びったり重なる形と図形を調べよう」では、コンパスと分度器を使用し作図する活動に困難がある。(P21)
構 成 上 の 工 夫	本文の文字の大きさ	1年最初 18ポイント 6年最後 12ポイント	1年最初 19ポイント 6年最後 12ポイント	1年最初 20ポイント 6年最後 13ポイント	1年最初 16ポイント 6年最後 12ポイント	1年最初 19ポイント 6年最後 12ポイント	1年最初 16ポイント 6年最後 12ポイント
	1ページの基本的な文字数	1年最初 24文字×13行 6年最後 32文字×25行	1年最初 22文字×12行 6年最後 28文字×21行	1年最初 28文字×17行 6年最後 30文字×21行	1年最初 19文字×14行 6年最後 30文字×26行	1年最初 25文字×12行 6年最後 28文字×21行	1年最初 23文字×12行 6年最後 29文字×26行
	欄外の文字の大きさ	1年最初 9ポイント 6年最後 7.5ポイント	1年最初 13ポイント 6年最後 9ポイント	1年最初 12ポイント 6年最後 9ポイント	1年 9ポイント 6年 7.5ポイント	1年最初 9ポイント 6年 7.5ポイント	1年 9ポイント 6年 9ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字の初出有	未習得及び難読漢字の初出有	未習得及び難読漢字の初出有	未習得及び難読漢字の初出有	未習得及び難読漢字の初出有	未習得及び難読漢字の初出有
	障害の状態に応じた事項、その他 ①通院等による学習空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②写真、図表等で視覚的に説明されているもの。 ③ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①2年上から、巻末に「ふりがえりコーナー」として、既習事項がまとめて示してある。 ②3年下「重さの比べ方」では、物の重さを比べている例が写真で示してある。(P23) ③4年上「角のかき方・三角形のかき方」では、見開きで学習できるようになっている。(P68、69)	①2年から、巻末に「ひとめでわかーる！ ○年までのまとめ」として、前学年までのポイントが示してある。 ②1年「なんじなんぶん」では、学校生活場面のイラストと時計が時系列で示してある。(P152、153) ③6年「データの活用」では、「表やグラフを生かそう」の手順を見開きで図示してある。(P76、77)	①2年から、上巻の巻頭に見開きで前学年までのポイントをまとめて示してある。 ②5年上「三角形や四角形の角について調べよう」では、図形をしきつめて、角の大きさの和を示してある。(P116、117) ③4年下「小数の筆算のしかたを考えよう」では、文章題から答えを出す手順を左から右に、見開きでまとめて示してある。(P80、81)	①2年上から、巻末に「学びのマッヅ」として、上巻には前学年まで、下巻には上巻の学習したポイントをまとめて示してある。 ②2年下「図をつかって考えよう」では、計算式がテープ図で示してある。(P86、87) ③5年「合同と三角形、四角形」では、合同な図形のかき方を左から右に、見開きでまとめて示してある。(P64、65)	①2年上から、巻末に「算数しりょうガイド」として、学習したことまとめが示してある。 ②6年「およその形と大きさ」では、大仙古墳の写真に図を重ねて示してある。(P145) ③4年上「角とその大きさ」では、扇を開いたときの角の大きさを左から右に、見開きで示してある。(P12、13)	①2年から、上巻の巻末に「学び方ガイド」、「算数で使いたいことば・考え方」がまとめて示してある。 ②4年上「角の大きさをはかるう」では、分度器のイラストで角度について説明している。(P62) ③6年「対称な図形」では、見開きの日本地図と周囲に配置された県のマークなどを調べる活動を示してある。(P30、31)

略 称		東 書	大日本	学 図	教 出	信 教	啓 林 館
内 容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、観察や実験等の学習活動が工夫できるもの。 ②生活経験を広げるような学習活動が紹介されているもの。	☆☆☆☆ 220箇所 ①3年「太陽の光を調べよう」では、温度計を使って、日なたの地面と日陰の地面の温度を測る活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P97) ②6年「てこのはたらき」では、ペンチや栓抜きなど、身の回りにあるてこを利用した道具の仕組みを調べる活動があり、生活経験を広げることができる。(P145)	☆☆☆ 147箇所 ①5年「もののとけ方」では、電子天秤を使って、食塩を入れた水の重さを測る活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P109) ②3年「じしゃくのふしぎ」では、アルミニウム箔や空き缶など、身の回りにある物について、磁石に引き付けられるかどうか調べる活動があり、生活経験を広げることができる。(P149)	☆☆☆☆ 167箇所 ①6年「植物と養分と水」では、食用色素を使って、ホウセンカの水の通り道を調べる活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P55、56) ②4年「季節と生き物の様子」では、校庭や野原で、昆虫などの動物の様子を調べる活動があり、生活経験を広げることができる。(P10、11)	☆☆☆☆ 191箇所 ①4年「もののあたたまり方」では、金属の板や示温インクを使って、金属が温まる順を調べる活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P159、160) ②6年「水溶液」では、レモンやカビ取り剤など、身の回りにある水溶液の働きを調べる活動があり、生活経験を広げることができる。(P189)	☆☆☆☆ 208箇所 ①3年「じしゃくのせいしつ」では、方位磁針を使って、棒磁石の向きが指している方位を調べる活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P143) ②4年「水のゆくえ」では、池の水面や地面など、身近な場所で水が蒸発しているかどうか調べる活動があり、生活経験を広げることができる。(P183、184)	☆☆☆ 165箇所 ①4年「電気のはたらき」では、プロペラを使って、乾電池をつなぐ向きとモーターの回る向きを調べる活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P35) ②5年「台風と気象情報」では、防災グッズの準備や避難経路の確認など、災害に対する備えについて紹介されており、生活経験を広げることができる。(P58)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、観察や実験等の学習活動に困難が想定されるもの。	★★★★ 9箇所 ①5年「ふりこのきまり」では、曲を流してふりこを振ってみる活動があり、学習の際に配慮が必要である。(P151)	★★★★ 7箇所 ①6年「体のつくりとはたらき」では、胸に聴診器を当てて拍動数を調べる活動があり、学習の際に配慮が必要である。(P45)	★★ 4箇所 ①3年「風のはたらき」では、風車が回っている時の音を聞く活動があり、学習の際に配慮が必要である。(P108、109)	★★ 4箇所 ①3年「音」では、糸電話を作って友達と話す活動があり、学習の際に配慮が必要である。(P137)	★★★ 6箇所 ①5年「ふりこの運動」では、振り子の動きを利用したおもちゃとして、メトロノームを作る活動が紹介されており、学習の際に配慮が必要である。(P151)	★★ 4箇所 ①6年「発電と電気の利用」では、コンデンサーにためた電気で電子オルゴールを鳴らす活動があり、学習の際に配慮が必要である。(P177)
	本文の文字の大きさ	3年最初 14ポイント 6年最後 13ポイント	3年最初 14ポイント 6年最後 13ポイント	3年最初 14ポイント 6年最後 13ポイント	3年最初 15ポイント 6年最後 13ポイント	3年最初 17ポイント 6年最後 13ポイント	3年最初 19ポイント 6年最後 16ポイント
	欄外の文字の大きさ	3年最初 8ポイント 6年最後 8ポイント	3年最初 14ポイント 6年最初 8ポイント	3年最初 10ポイント 6年最後 11ポイント	3年最初 8ポイント 6年最後 8ポイント	3年最初 8ポイント 6年最後 8ポイント	3年最初 7ポイント 6年最後 7ポイント
構成上の工夫	ふりがな	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有
	折り込みページの箇所数	2箇所	1箇所	0箇所	3箇所	0箇所	1箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①観察や実験の手順を、番号や矢印、写真や絵で示してある。(5年P112、113など) ②問題や観察の要点、まとめを大きな文字で記述している。(4年P45、46など)	①観察や実験の手順を写真や絵で示してある。(4年P87など) ②問題や観察の要点、まとめを大きな文字や枠囲みで記述している。(3年P153、154など)	①観察や実験の手順を枠囲みし、写真や絵で示してある。(3年P151など) ②問題と分かったことを、枠囲みで記述している。(5年154、155など)	①観察や実験の手順を、番号や矢印、写真や絵で示してある。(5年P34、35など) ②問題、観察・実験、結論を大きな文字と枠囲みで記述している。(3年P93、94など)	①観察や実験の手順を枠囲みし、写真や絵で示してある。(6年P45など) ②問題を大きな文字で示すとともに、まとめを枠囲みで記述している。(4年P101、103など)	①観察や実験の手順を枠囲みし、写真や絵で示してある。(4年P118、119など) ②問題、観察・実験、まとめを、大きな文字と矢印で記述している。(3年P105、106など)
	③安全・衛生への配慮箇所数	143箇所	138箇所	122箇所	173箇所	88箇所	163箇所
参 考	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりについての扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり

略 称		東 書	大日本	学 図	教 出	信 教	啓 林 館
内 容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、観察や実験等の学習活動が工夫できるもの。 ②生活に結び付き、生活経験を広げる学習活動が示されているもの。	☆☆☆☆ 58箇所 ①6年「大地のつくり」では、がけを観察することができない時には、教科書の写真や博物館などの資料を用いて調べることが示してある。(P104) ②4年「物のあたたまり方」では、暖房をつけている室内の空気の温度を調べる活動があり、生活に結び付いている。(P145)	☆☆☆ 44箇所 ①6年「大地のつくりと変化」では、流れる水のはたらきと地層のでき方の関係を調べる実験において、砂と泥と水を瓶に入れて振った後に、観察する方法を示してある。(P133) ②4年「雨水のゆくえ」では、雨上がりの校庭で雨水の流れを観察する活動があり、生活経験を広げることができる。(P80、81)	☆☆☆☆ 61箇所 ①3年「光を調べよう」では、鏡を使って集めた日光の温度を測る活動において、温度計の代わりに放射温度計を使う方法を示してある。(P98) ②5年「雲と天気の変化」では、雲の様子を観察する活動があり、生活に結び付いている。(P81)	☆☆☆☆ 55箇所 ①5年「流れる水と土地」では、実際に川に行つて観察する方法のほかに、インターネットのウェブサイトを活用して川の上流や下流の様子を調べて調べる方法を示してある。(P121) ②6年「電気の利用」では、身の回りで利用している電気の性質やはたらきについて調べる活動があり、生活に結び付いている。(P209)	☆☆☆☆ 60箇所 ①5年「植物の成長」では、ペットボトルや脱脂綿を使って水耕栽培をする活動を紹介してある。(P39) ②6年「月と太陽」では、月に見立てたボールに光を当てて調べる活動があり、生活に結び付いている。(P83)	☆☆☆☆ 73箇所 ①4年「ものの温度と体積」では、温度による体積の変化を調べる実験において、丸底フラスコの代わりに、ペットボトルなどを活用する方法を示してある。(P113) ②3年「じしゃくのふしぎ」では、はさみや硬貨など、身の回りの物が磁石に付くかどうか調べる実験があり、生活に結び付いている。(P127)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、観察や実験等の学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。	★★★★ 95箇所 ①5年「花から実へ」では、ヘチマの花のめしべの先端に筆で花粉を付ける活動があり、学習の際に困難がある。(P61) ②3年「たねをまこう」では、植物の種をまく際に、指で土に穴をあける活動があり、土に直接触れるため、配慮を要する。(P19)	★★★★ 87箇所 ①3年「太陽の光」では、虫眼鏡で日光を集めて、段ボール紙に当てての実験があり、学習の際に困難がある。(P127) ②4年「季節と生物2 春」では、植物の苗を花壇などに植え替える活動があり、土に直接触れるため、配慮を要する。(P89)	★★★★ 95箇所 ①6年「電気と私たちの生活」では、手回し発電機で、電流の大きさや向きを変える実験があり、学習の際に困難がある。(P179) ②4年「雨水の流れ」では、校庭や花壇などにおける土の粒と水の染み込み方の関係を調べる活動があり、土に直接触れるため、配慮を要する。(P144)	★★★★ 98箇所 ①4年「とじこめた空気や水」では、注射器に閉じ込めた空気を押して体積と手ごたえを調べる実験があり、学習の際に困難がある。(P119) ②3年「植物を育てよう」では、ホウセンカの苗の土を洗い落とす活動があり、土に直接触れるため、配慮を要する。(P33)	★★★★ 88箇所 ①4年「人の体のつくりと運動」では、重いものを持ち上げて、筋肉の様子を調べる活動があり、学習の際に困難がある。(P126) ②3年「太陽とかけを調べよう」では、影の向きと太陽の位置を調べる活動があり、長時間日光に直接当たる可能性があり、配慮を要する。(P11)	★★★★ 81箇所 ①6年「てこのはたらき」では、棒のてこで、力点の位置だけを動かして、手応えを比べる活動があり、学習の際に困難がある。(P155) ②3年「日なたと日かげの地面」では、日なたと日陰の地面に、手で直接触れて比べる活動があり、配慮を要する。(P93)
構 成 上 の 工 夫	本文の文字の大きさ	3年最初 14ポイント 6年最後 13ポイント	3年最初 14ポイント 6年最後 13ポイント	3年最初 14ポイント 6年最後 13ポイント	3年最初 15ポイント 6年最後 13ポイント	3年最初 17ポイント 6年最後 13ポイント	3年最初 19ポイント 6年最後 16ポイント
	欄外の文字の大きさ	3年最初 8ポイント 6年最後 8ポイント	3年最初 14ポイント 6年最初 8ポイント	3年最初 10ポイント 6年最後 11ポイント	3年最初 8ポイント 6年最後 8ポイント	3年最初 8ポイント 6年最後 8ポイント	3年最初 7ポイント 6年最後 7ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有
	折り込みページの箇所数	2箇所	1箇所	0箇所	3箇所	0箇所	1箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視の困難を補えるように、各ページの構成が整理されているもの。 ②通院等による学習空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ③写真、図表等で視覚的に説明されているもの。 ④実験、観察等の結果が明確に記述されているもの。 ⑤ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①観察や実験の手順を、番号や矢印、写真や絵で示してある。(5年P112、113など) ②問題や観察の要点、まとめを大きな文字で記述してある。(4年P45、46など) ③5年「魚のたんじょう」では、メダカの卵の中の変化を写真で視覚的に説明してある。(P45) ④4年「自然のなかの水のすがた」では、ビーカーの水の量の変化を調べた実験の結果を写真を用いて示してある。(P104) ⑤3年「トンボやバッタを育てよう」では、昆虫の卵から成虫までの変化について、見開きの左から右に、写真と説明文で示してある。(P44、45)	①観察や実験の手順を写真や絵で示してある。(4年P86、87など) ②問題や観察の要点、まとめを大きな文字や枠囲みで記述してある。(3年P153、154など) ③6年「体のつくりとはたらき」では、消化と吸収の仕組みについて、絵を用いて視覚的に説明してある。(P52、53) ④5年「電磁石の性質」では、コイルの巻き数と電磁石の強さの関係を調べた実験の結果を写真や記録例を用いて示してある。(P150) ⑤5年「ふりこの動き」では、ふりこが1往復する時間に関する実験において、実験の条件や記録例を、見開きで示してある。(P130、131)	①観察や実験の手順を枠囲みし、写真や絵で示してある。(3年P151など) ②問題と分かったことを、枠囲みで記述してある。(5年154、155など) ③6年「火山の噴火と地震」では、地震による大地の変化について、写真を用いて視覚的に示してある。(P140、141) ④4年「月と星」では、月の動きを調べた結果を写真や記録例を用いて示してある。(P98) ⑤3年「かけと太陽」では、太陽の一日の動きを見開きの左から右に、写真で示してある。(P32、33)	①観察や実験の手順を、番号や矢印、写真や絵で示してある。(5年P34、35など) ②問題、観察・実験、結論を大きな文字と枠囲みで記述してある。(3年P93、94など) ③3年「チョウをそだてよう」では、トンボやバッタなど、様々な昆虫の育ち方について、写真で視覚的に示してある。(P50) ④5年「流れる水と土地」では、水量と流れる水のはたらきとの関係を調べた結果を写真で示してある。(P136) ⑤6年「大地のつくり」では、様々な地域にある地層の写真を、見開きで示してある。(P122、123)	①観察や実験の手順を枠囲みし、写真や絵で示してある。(6年P45など) ②問題を大きな文字で示すとともに、まとめを枠囲みで記述してある。(4年P101、103など) ③5年「花のつくりと実」では、様々な植物の花粉について、写真で視覚的に示してある。(P55) ④3年「光のせいしつ」では、虫眼鏡で日光を集めた結果を、枠囲みで文章を用いて示してある。(P106) ⑤4年「生き物のくらし～夏～」では、夏の時期に観察できる身近な植物を、見開きの夏の風景のイラストに重ねた写真で示してある。(P52、53)	①観察や実験の手順を枠囲みし、写真や絵で示してある。(4年P118、119など) ②問題、観察・実験、まとめを、大きな文字と矢印で記述してある。(3年P107から109までなど) ③6年「大地のつくりと変化」では、地震災害に備えた取組について、写真や絵で視覚的に示してある。(P142、143) ④5年「電流と電磁石」では、電流の大きさを変えたり、コイルの巻き数を変えた時の電磁石の強さを調べた実験の結果を、写真を用いて示してある。(P166) ⑤6年「生物どうしのつながり」では、水の循環について、写真や絵を用いて見開きで示してある。(P84、85)
	⑥安全・衛生への配慮箇所数	143箇所	138箇所	122箇所	173箇所	88箇所	163箇所
参 考	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりについての扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり

略 称		東 書	大日本	学 園	教 出	信 教	光 村	啓 林 館	日 文
内 容	視覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①触覚や聴覚等を活用して、体験的な活動が工夫できるもの。 ②視覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	☆☆☆ 19箇所	☆☆ 7箇所	☆☆☆ 14箇所	☆☆ 7箇所	☆ 3箇所	☆ 3箇所	☆☆☆ 14箇所	☆☆☆ 14箇所
		①上「はなの ようすをつたえよう」では、花の成長の様子を細かく観察する方法として、触覚や聴覚を活用した活動が示してある。(P35) ②下「まちの くふう」では、写真を用いて、点字ブロックや音響用押ボタン、点字案内板の写真が示してある。(P70)	①上「あきとなかよし」では、葉を踏む音や形比べ、臭い比べがあり、触覚や聴覚、嗅覚を活用した活動が示してある。(P64) ②下「春の町はっけん」では、点字ブロックや音響用押ボタンの写真が示してある。(P24、25)	①上「わたしのあさがお」では、触察する活動が示してある。(P23) ②下「まちたんけん」では、点字ブロック、点字の写真が示してある。(P14)	①上「きれいにさいてね わたしのはな」では、育てた花の種を収穫する活動が示してある。(P41) ②下「わたしの まちの くふう」では、点字ブロックや音響用押ボタンの写真が示してある。(P44)	①上「かって みたいな」では、生き物の飼育で、生き物に触れる活動が示してある。(P46) ②下「人に やさしい 町」では、点字ブロックや音の出る信号機が示してある。(P25)	①上「なつを たのしもう」では、裸足で芝生に立ってみたり、寝転がったりする活動が示してある。(P48、49) ②なし	①上「あきの校ていに出てみよう」では、季節感を音や匂いなどで感じる活動が示してある。(P76、77) ②下「町のくふうを見つけよう」では、白杖、盲導犬、点字ブロック、点字の写真が示してある。(P120、121)	①上「ふゆをかんじよう」では、氷に触ったり、聞こえてくる音から冬の遊びを考えたりする活動が示してある。(P106、107) ②下「いろいろな町のくふう」では、点字ブロックや町にある物の写真と、実際に読める点字が示してある。(P134、135)
容	視覚障害への配慮を要する内容等について ①視覚を頼りとする観察や体験等の学習活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	★★ 8箇所	★★ 6箇所	★★★★ 17箇所	★★ 7箇所	★★★★ 10箇所	★ 4箇所	★ 4箇所	★★★★ 12箇所
		①下「ちがいを さがそう」では、イラストを見て、間違っことをしている人を探す活動があるので、配慮を要する。(P22)	①上「がっこうとなかよし」では、付録を用いて見る活動があり、配慮を要する。(P8)	①上「もうすぐなつやすみ」では、やくそくことがイラストのみで示しており、配慮要する。(P55)	①上「あきを 見つけに いこう」では、写真を見比べてどんぐりの帽子と本体を結び付ける活動があり、配慮を要する。(P77)	①上「はると なかよし」では、見開きや折り込みページ全体に絵と写真のみで構成されているため、配慮を要する。(P26～31)	①下「よく 見ると、おもしろいよ」では、ダンゴムシの足が何本か数える場面があり、配慮を要する。(P42、43)	①上「わくわくぼくす なにがあるかな？」では、絵のみが示しており、配慮を要する。(P36、37)	①下「みんながつかう場しよへ行ってみよう」では、イラストの上に写真が重ねてあり、配慮を要する。(P14、15)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	上:32ポイント 下:26ポイント	上:36ポイント 下:32ポイント	上:36ポイント 下:32ポイント	上下ともに24ポイント	上下ともに18ポイント	上:32ポイント 下:30ポイント	上下ともに28ポイント	上下ともに24ポイント
	ふりがな	上:全て平仮名 下:全て有	ページの初出有	ページの初出有	全て有	上:一部有 下:初出有	上:ページの初出有 下:ページの初出有(既習は無)	全て有	全て有
	折り込みページの箇所数	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	上:10箇所 下:2箇所	上:2箇所 下:0箇所	0箇所	0箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①各ページの構成が統一されており、全体の把握が容易であるもの。 ②写真が鮮明であり、枠囲み等が付けられているもの。 ③絵の色彩が鮮明であるもの。	①単元ごとに「やくそく」の項目の記載があり、注意すべき内容が示してある。 ②下「秋や冬にもそだてよう」では、発芽の様子の写真が実物大で示してある。(P21) ③下「かどう べんりてちょう」では、安全や道具の説明が4色刷りイラストで示してある。(P107～128)	①上巻末「がくしゅう どうぐばこ」では、安全にすることがまとめて示してある。(P106) ②上「むしのふしぎをみつけたよ」では、昆虫の顔を正面から撮影した、鮮明な画像が示してある。(P51) ③上「いきものとなかよし」では、飼育小屋の様子が4色刷りイラストで示してある。(P17)	①上「わたしのあさがお」では、見開きの右端の同位置に、花の品種ごとの「種、芽、花、種」の変化を示してある。(P19、23、27、29、33) ②下「生きものと友だち」では、見開き2ページの幅で写真が示しており、重ねてある写真は白枠で囲みがある。(P58、57) ③下「はっぴょう会をするよ」では、発表会の様子を4色刷りイラストで示してある。(P22、23)	①上「もっと そだてたいね」では、花の品種ごとの「種、芽、花」の変化を写真で示してある。(P44) ②下「野さいとくだもの クイズ」では、野菜や果物の全体図や断面図の写真が示してある。(P22、23) ③上「のはら ずかん」では、様々な昆虫が楕円実寸大のイラストで示してある。(P58、59)	①上下とも、全ての単元が、見開きで学べるようになっている。 ②上「わたしの あさがお」では、あさがおの発芽の瞬間の写真がページの約半分の大きさを示してある。(P40) ③上「おはなし ききたいな」では、図書室や保健室の様子が4色刷りイラストで示してある。(P20、21)	①下「小さなともだち」では、生き物の飼育の工夫を示してある。(P40) ②上「かって みたいな、できるかな」では、様々な花の種の写真が、開花時の写真と共に掲載されている。(P30、31) ③下「こまだったときは、みんなでそうだん」では、野菜を育てる際の工夫がイラストで示してある。(P26、27)	①上、「きになるばしよに いってみよう」では、単元名がページ上部に示してある。(P8) ②下「大きくそだてわたしの野さい」では、野菜の全体と断面の写真が示しており、二次元コードで補足してある。(P15) ③上「生きもののそだてかた」では、飼育環境をイラストで示してある。(P70、71)	①上「きれいなはなをさかしたい」では、ページの端に「種、つぼみ、花、実」の変化を、上下同じ位置に示してある。(P37～P44) ②上「ふゆのあそびずかん」では、遊びの実際の様子を示す写真が、枠囲みがついて示してある。(P112、113) ③下「ぐんぐんそだてみんなの野さい」では、種と芽の写真とともに、実物のような色合いで野菜のイラストが示してある。(P36)
	④安全・衛生への配慮箇所数	55箇所	24箇所	13箇所	27箇所	5箇所	17箇所	36箇所	38箇所

略 称		東 書	大日本	学 園	教 出	信 教	光 村	啓 林 館	日 文
内 容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、生活経験を広げるような学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる絵や写真等があるもの。	☆☆☆ 16箇所 ①上「たのしいあいきいばい」では、電子黒板や書画カメラを活用して発表する活動を示してある。(P74) ②下「みんなでつかう町のしせつ」では、まちの工夫として筆談に対応する耳マークの写真がある。(P70)	☆☆☆ 18箇所 ①下「春の町のはっけん」では、クイズや電子黒板、地図などを活用した発表活動を取り上げている。(P26、27) ②なし	☆☆ 13箇所 ①下「わたしたちの野さいばたけ」では、本やインターネットで調べる方法を写真で示してある。(P39) ②下「まちたんけん」では、町の工夫の例で、手話を使った授業の写真とあいさつの手話のイラストが示してある。(P15)	☆☆ 7箇所 ①上「きせつとなかよし あき」では、幼稚園の友達を招待する活動を計画する際の思考を、視覚化する方法を示してある。(P87) ②なし	☆☆ 13箇所 ①下「わたしたちがすむ町」では、見学の際にカメラを活用している。(P19) ②下「わたしたちがすむ町」では、挨拶の手話をイラストで示してある。(P25)	☆☆ 8箇所 ①下「広がれわたし」では、発表の方法として巻物、ランキング、新聞、すごろくを示してある。(P92、93) ②なし	☆☆☆☆ 27箇所 ①上「いくぞ！ がっこうたんけんたい」では、校舎にある物をシルエットで示してある。(P5) ②下「町のくふうを見つけよう」では、挨拶の手話と点字をイラストで示してある。(P121)	☆☆☆☆ 21箇所 ①上「もうすぐ2年生」では、自分の成長を友達に伝える方法として、実物大の自分の絵を描く活動を示してある。(P118) ②下「いろいろな町のくふう」では、町にある物の写真や挨拶の手話のイラストが示してある。(P135)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	★★ 5箇所 ①上「きれいにさいてね」では、観察の仕方について、草の音を聞く活動の写真があり、配慮を要する。(P35)	★★★★ 11箇所 ①下「はっけんしたよ いろいろなしごと」では、話を聞く活動があり、配慮を要する。	★★ 6箇所 ①下「わたしたんけん」では、電話で聞き取る活動があり、配慮を要する。(P95)	★★ 6箇所 ①下「えがおいっぱいほっぴょう会」では、地域の方を招いて発表する際に、手話などの配慮を要する。(P74、75)	★ 3箇所 ①上「たなばた」では、電話で聞き取る活動があり、配慮を要する。(P52)	★ 3箇所 ①上「きせつのおくりもの」では、夜間に虫の鳴き声を聴く活動があり、配慮を要する。(P117)	★★★★ 18箇所 ①上「なつとなかよし」では、雨の音を聞く活動があり、配慮を要する。(P53)	★★★★ 11箇所 ①上「きせつとあそぼうーふゆー」では、目を閉じて音を聞いたり、聞こえた音を書いたりする活動があり、配慮を要する。(P107)
構 成 上 の 工 夫	本文の文字の大きさ	上:32ポイント 下:26ポイント	上:36ポイント 下:32ポイント	上:36ポイント 下:32ポイント	上下ともに24ポイント	上下ともに18ポイント	上:32ポイント 下:30ポイント	上下ともに28ポイント	上下ともに24ポイント
	ふりがな	上:全て平仮名 下:全て有	ページの初出有	ページの初出有	すべて有	上:一部有 下:初出有	上:ページの初出有 下:ページの初出有(既習は無)	すべて有	すべて有
	折り込みページの箇所数	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	上:10箇所 下:2箇所	上:2箇所 下:0箇所	0箇所	0箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①下「どきどきわくわくまちたんけん」では、話し方について、イラストや写真、文字で示してある。(P31)	①上「ふゆとなかよし」では、「せいかつことば」として、雪に関する様々な表現を示してある。(P87)	①上下巻末に「生活科学び方図かん」として学習の仕方をイラストでまとめて示してある。	①上「かぞく にこにこ 大さくせん」では、一日の生活を時系列に、イラストで示してある。(P94、95)	①下「いっぱいみのつたね」では、大豆から作られる物を写真で示してある。(P60)	①上「さかせたいなわたしのはな」では、学習の振り返りで児童が気が付いたことを、話し言葉で説明している場面が示してある。(P42、43)	①上「どうぶつとなかよくなるう」では、モルモットの抱き方を絵と文字で示してある。(P67)	①上「きれいなはなをさかせたい」では、種のまき方の手順をイラストで示してある。(P38)
②安全・衛生への配慮箇所数		55箇所	24箇所	13箇所	27箇所	5箇所	17箇所	36箇所	38箇所

略 称		東 書	大日本	学 園	教 出	信 教	光 村	啓 林 館	日 文
内 容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、体験的な学習活動が工夫できるもの。	☆☆☆☆ 13箇所 ①上「むしと なかよく なろう」では、飼育ケースに入れた昆虫などの動きを観察する活動が示してある。(P60)	☆☆☆☆ 11箇所 ①上「やさしいハンコ」では、野菜の断面を利用することで様々な模様のハンコを作る活動が示してある。(P125)	☆☆ 4箇所 ①下「何をそだてようかな」では、野菜の育て方を地域の人に聞いたり、インターネットで調べたりするなど、様々な調べ方が示してある。(P39)	☆☆ 4箇所 ①下「しらべよう」では、デジタルカメラ等を活用して記録する方法が示してある。(P123)	☆ 3箇所 ①下「わたしたちがすむ町」では、デジタルカメラで記録したり、大型ディスプレイを使用して発表したりする活動が示してある。(P19)	☆ 3箇所 ①下「あそんでためてくふうして」では、箱を並べたり、コップを積みんだりする活動が示してある。(P50、51)	☆☆☆☆ 14箇所 ①上「かくしゅうずかん」では、視覚、触覚、嗅覚、聴覚等を用いた観察の仕方、イラストと写真で説明してある。(P120)	☆☆☆☆ 12箇所 ①下「手紙の書き方 電話のかけ方」では、電話のかけ方がイラストで示してある。(P119)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、観察や体験等の学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。	★★★★ 27箇所 ①上「たのしいあきいっばい」では、コマ作りにおいて、はさみや錐(きり)を使う活動があり、配慮を要する。(P80) ②上「いきものとなかよし」では、モルモットやハムスターに触れる活動があり、配慮を要する。(P64)	★★ 13箇所 ①下「おもちゃを作ってみよう」では、紙とんぼを飛ばす活動があり、上肢の操作を伴うため、体験に困難が想定される。(P75) ②上「いきものとなかよし」では、野外で昆虫などを採集する活動があり、配慮を要する。(P46)	★★★★ 27箇所 ①上「なにをつくらうかな」では、両手動作で錐(きり)を使用する活動があり、困難が予想される。(P64) ②下「見つけた 見つけた」では、昆虫を手で触る活動があり、配慮を要する。(P59)	★★ 13箇所 ①下「うごかしてあそぼう」では、両手動作で輪ゴムを飛ばす活動があり、困難が予想される。(P86) ①上「生きものをさがそう」では、飼育動物や昆虫等に触れる活動があり、配慮を要する。(P65)	★★★ 19箇所 ①上「てづくりおもちゃ」では、鋏(はさみ)や錐(きり)を使用する場面のイラストがあり、使用の際には配慮が必要である。(P119) ②下「いきものといっしょ③」では、山羊に触れる場面があり、配慮を要する。(P31)	★★★ 19箇所 ①下「あそんでためてくふうして」では、錐(きり)を使って製作するおもちゃを取り上げており、実際に活動する際には配慮が必要である。(P55) ②上「いきものとなかよし」では、モルモットに触れる活動があり、配慮を要する。(P65)	★★★★ 22箇所 ①上「ひろがれえがお」では、コマ回し、けん玉、あやとりなどの活動があり、配慮を要する。(P96) ②上「生きもの大すき」では、モルモットを抱く活動があり、配慮を要する。(P66)	★★★ 18箇所 ①上「そだてるはなをきめよう」では、教科書を折り込むことで関連をみるができる誌面上の工夫があるが、操作の困難が予想される。(P37) ②上「生きものとふれあおう」では、モルモットや昆虫に触れる活動があり、配慮を要する。(P70)
構 成 上 の 工 夫	本文の文字の大きさ	上:32ポイント 下:26ポイント	上:36ポイント 下:32ポイント	上:36ポイント 下:32ポイント	上下ともに24ポイント	上下ともに18ポイント	上:32ポイント 下:30ポイント	上下ともに28ポイント	上下ともに24ポイント
	ふりがな	上:全て平仮名 下:全て有	ページの初出有	ページの初出有	すべて有	上:一部有 下:初出有	上:ページの初出有 下:ページの初出有(既習は無)	すべて有	すべて有
	折り込みページの箇所数	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	上:10箇所 下:2箇所	上:2箇所 下:0箇所	0箇所	0箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視の困難を補えるように、各ページの構成が整理されているもの。 ②通院等による学習空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ③体験の不足を補うために、写真や絵で視覚的に学習活動が示されているもの。 ④ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①上「きれいにさいてね」では、ページの左端に複数品種の植物の、種、芽、蕾、花、実の写真が並べて示してある。(P28) ②上下巻それぞれの巻末には、「かつどうべんりてちょう」があり、学習したテーマについて、イラストや写真を用いて説明してある。 ③上巻巻末に「ほんとうのおおきさ ポケット図鑑」があり、植物や昆虫などが実寸大のイラストで示してある。 ④単元ごとに、見開きで学べる箇所がある。(下巻P28、29など)	①下「みんなでそだてて食べたいな」では、ページ下部に野菜のイラストを示し、ページ上部にその野菜を使った料理の写真を配置してある。(P18、19) ②上下巻末に、「かくしゅうどうばこ」として各単元の内容に関連した事項をまとめてある。 ③夜の町の様子を、黒い紙を背景に使い示してある。(下P113) ④全てのページが見開きで学べるようになっている。	①上「わたしのあさがお」では、種から発芽などの流れがページ右端にまとめて示してある。(上P19、23など) ②上「まなびかたずかん」として、学び方のポイントがまとめて示してある。(上P114) ③下「ものしりノート」では、野菜の育て方がイラストで示してある。(P42、43) ④全てのページが見開きで学べるようになっている。	①上「なにをかんじたかな」では、見開きの右端に「まんぞくはしご」を配置し、各単元の理解度を考える活動を示してある。(P21、91など) ②目次に、各単元を学習する時期を線表で示してある。(上P7、下P1) ③上「もつとそだてたいね」では、球根と芽、花を開通させて写真で示してある。(上P44) ④単元ごとに、見開きで学べる箇所がある。(下巻P52など)	①単元で取り扱う内容ごとに、共通した背景色を用いて、単元名を枠囲みで示してある。(上P13、44、56など) ②学校生活での安全について、考えさせるイラストを枠囲みで示してある。(上P12、64、113など) ③下「みんなで行く」では、バスや電車の利用方法を写真やイラストで示してある。(P68、69、70など) ④全てのページが、見開きで学べるようになっている。	①上「なかよしいっばいだいさくせん」では、ページ上部に、校舎など学校施設のイラストを配置し、下部に写真を配置して、示してある。(P17) ②上下の巻末に「ひろがるせいかつてん」として、学習した内容のまとめが記載してある。 ③上「さかせたいなわたしのはな」では、種まきの方法を写真やイラストを使って示してある。(P32) ④全てのページが、見開きで学べるようになっている。	①単元名等が見開きページの左上に、本文より大きな文字で記載してある。 ②上下の巻末には、「かくしゅうずかん」として、学習したテーマについて、イラストや写真を用いて示してある。 ③上「げんきにそだてわたしのはな」では、種のまき方について4枚の連続したイラストで示してある。(P25) ③下「大きくそだてわたしの野さい」では、苗の植え方を、4枚のイラストで示してある。(P19) ④全てのページが、見開きで学べるようになっている。	①各単元のまとまりを示すイラストが、見開きの左端上に単元ごとに異なる背景色で示してある。(上P46など) ②巻末に「ちえとわざのたからばこ」として、学び方、しぜん・生活、ポイントずかんなどが、項目ごとにまとめて示してある。(下P112) ③下「生きもの図鑑」では、昆虫の一生のサイクルが写真で示してある。(下 P52～55) ④全てのページが見開きで学べるようになっている。
	⑤安全・衛生への配慮箇所数	55箇所	24箇所	13箇所	27箇所	5箇所	17箇所	36箇所	38箇所

小学部 音楽(聴覚障害特別支援学校)

略 称		教 出	教 芸
内 容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①動きを模倣する活動など、視覚的な情報で学習活動が工夫できるもの。	☆☆☆☆ 66箇所 ①3年「遊び歌めぐり」では、友達と組になって歌の拍に合わせて手を合わせる活動があり、動きを介して学習することができる。(P38、39)	☆☆☆ 42箇所 ①2年「音楽でみんなとつながろう」では、歌に合わせて日本語の挨拶を手話で表現する活動があり、歌に対する関心を高めて学習することができる。(P6、7)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①音の重なりによる響きを感じ取ることがねらいになっており、学習活動に困難が想定されるもの。 ②演奏や歌唱の聞き比べ等、学習活動に困難が想定されるもの。	★★★ 43箇所 ①5年「声のひびき合い」では、和音に合わせて旋律を作る活動があり、配慮を要する。(P26、27) ②4年「ききどころを見つけて」では、オーケストラの合奏を聞いて、聞こえてきた旋律や楽器の名前を書いたり、友達と話し合ったりする活動があり、学習の際に配慮を要する。(P52、53)	★★★★ 69箇所 ①5年「音の重なりを感じ取ろう」では、リコーダーの音が重なり合う響きを感じ取りながら演奏する活動があり、配慮を要する。(P16、17) ②1年「みつけたおとでよびかけあいましょう」では、見つけた音を声で表して紹介する活動があり、学習の際に配慮を要する。(P30、31)
構成上の工夫	説明資料の箇所数	65箇所	61箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①1年「うたでまねっこ」では、歌詞や使用する楽器、リズムを図や絵で示してある。(P54、55)	①3年「歌って音の高さかんじとろう」の「せんりつづくり」では、音の高低のイメージをイルカのジャンプに見立てて、図や絵で示してある。(P13)
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり

小学部 音楽(肢体・病弱障害特別支援学校)

略 称		教出	教芸
内 容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる单元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、学習活動が工夫できるもの。	☆☆☆☆ 68箇所 ①1年「しゅわやあしぶみをしながらたおう(さんぽ)」では、手話をしながら歌う活動があり、動きを簡略化するなどの表現の工夫ができる。(P69)	☆☆☆☆ 56箇所 ①5年「いろいろな音色を感じ取ろう」では、様々な楽器が提示されており、児童が活動しやすいものを選ぶことができる。(P31)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、楽器の演奏等の学習活動に困難が想定されるもの。 ②心疾患等にかかわる配慮が必要なもの。 ③各学年の児童数が少ないため、集団活動が含まれるなど取扱いが困難と思われる内容が取り上げられているもの。	★★★★ 109箇所 ①4年「アンサンブルの楽しさ」では、鍵盤ハーモニカ、リコーダー等による合奏のため、学習活動に困難が想定される。(P50) ②なし ③5年「ゴジラ」では、6種類の楽器を使った合奏になっており、取扱いが困難と思われる。(P66)	★★★★ 103箇所 ①3年「音の重なりをかんじて合わせよう」では、リコーダー等を使った合奏があり、学習活動に困難が想定される。(P68) ②なし ③4年「スーパーカリフラジリスティックエキスピアリドーシャス」では、7パートの合奏であり、取扱いが困難と思われる。(P78)
構 成 上 の 工 夫	説明資料の箇所数	65箇所	61箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①通院等による学習期間の空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されているもの。 ②写真、図絵等で視覚的に学習活動が示されているもの。 ③ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①各学年の巻末に、『『音楽のもと』まとめ』として、学習と関連した内容がまとめてある。(5年P74など) ②3年「せんりつの流れとへん化」では、チェロの旋律とピアノの動きが図や絵で示してある。(P35) ③4年「曲に合った歌い方」では、見開きの左側に楽譜を示し、右側に表現を深める過程を示してある。(P28、29)	①各学年の巻末に、「ふり返りのページ」として、学習のポイントがまとめて示してある。(4年P82など) ②2年「せいかつの中にある音を楽しもう」では、セミの声の高低を、図式化して表している。(P29) ③6年「日本や世界の音楽に親しもう」では、見開きに配置した世界地図の上に、各国の音楽を演奏している写真を示してある。(P50、51)
参 考	国旗・国歌の扱い	あり	あり

小学部 図画工作(視覚障害特別支援学校)

略 称		開隆堂	日文
内 容	視覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる单元等について ①視覚以外の感覚(触覚や全身の皮膚感覚、音を聞き分けたり等)を活用して表現するもの。	☆☆☆☆ 59箇所 ①3・4年上「さわってわくわく」では、様々な材料に触れ、感触から表現したいことを見つける活動が示してある。(P38)	☆☆☆☆ 70箇所 ①1・2年下「音づくりフレンズ」では、制作した楽器を鳴らして、音を聞く活動が示してある。(P30)
	視覚障害への配慮を要する内容等について ①絵画等の鑑賞などを通して表現する活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。 ②安全への配慮から、道具等の取扱いに困難が想定されるもの。	★★★★ 54箇所 ①5・6年上「比べてみよう」では、作品の似ているところや違っているところを見て考える活動があり、配慮を要する。(P30) ②5・6年下「わたしはデザイナー12さいの力で」では、電動糸のこぎり、のこぎり、きり、金づちを使う活動があり、安全面で配慮を要する。(P40)	★★★★ 69箇所 ①5・6年下「ここから見ると」では、場所の奥行きを使って楽しく見える物を作る活動があり、配慮を要する。(P12) ②5・6年上「でこぼこの絵」では、木材を電動糸のこぎり、彫刻刀で加工する活動があり、安全面で配慮を要する。(P32)
構成上の工夫	ふりがな	初出有	初出有
	解説文等がついている作品数	41	57
	折り込みページの箇所数	6箇所	6箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①文字・図版が鮮明であるもの。	①5・6年上「心をひらいて」では、見開きで作品を掲載してある。(P6)	①1・2年上「かきたいものなあに」では、背景にイラストや模様が少ないため、コントラストが鮮明である。(P10)
	②安全への配慮箇所数	38箇所	107箇所

小学部 図画工作(聴覚障害特別支援学校)

略 称		開隆堂	日文
内 容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①色や形の構成など視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。	☆☆☆☆ 9箇所 ①1、2年下「見つけたよ、わたしの色水」では、インクや絵の具を水に混ぜることで、様々な色水をつくる活動が示してある。(P24)	☆☆☆☆ 8箇所 ①1、2年上「いろいろなかたちのかみから」では、切り取った後の紙の形から思い付いたことを表現する活動が示してある。(P30)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	★★ 2箇所 ①3、4年下「絵から聞こえる音」は、絵画を鑑賞して、音をイメージし、音を形や色で表現する題材であり、配慮を要する。(P36)	★★★★ 4箇所 ①1、2年下「音づくりフレンズ」では、音を意識しながら楽器をつくる活動のため、配慮を要する。(P30)
構成上の工夫	ふりがな	初出有	初出有
	解説文等がついている作品数	41	57
	折り込みページの箇所数	6箇所	6箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①5・6年下「わたしはデザイナー12さいの力で」では、制作する手順に沿って、児童が制作している写真を示してある。(P40、41)・巻末に「学びの資料」として学習した内容が、写真やイラストとともに説明文でまとめられている。(P50～56)	①3・4年下「つなぐんぐん」では、制作過程の写真が示してある。(P24)・5・6年下「ここから見ると」では、様々な場所での作品の写真とともに、活動内容の説明が示してある。(P12)
	②安全への配慮箇所数	38箇所	107箇所

小学部 図画工作(肢体・病弱障害特別支援学校)

略 称		開隆堂	日文
内 容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる单元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、実際に表現できる内容が示されているもの。	☆☆☆☆ 28箇所 ①5・6年上「進め！ ローラー大ぼうけん」では、ローラーに様々な素材を巻き付けるなどして、版画で表現する活動が示してある。(P34)	☆☆☆ 19箇所 ①1・2年上「でこぼこ はっけん！」では、紙粘土を身の回りの様々なでこぼこに押し付けることで、模様を形成できる活動が示してある。(P42)
	肢体不自由・病弱の配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。	★★★★ 41箇所 ①3・4年下「かみわざ！ 小物入れ」では、平面の紙に、切れ目を入れたり折り目を付けたりして、立体の箱を作る活動があり、配慮を要する。(P20) ②3・4年下「どろどろかっちゃん」では、手で直接触れて活動する場面があり、配慮を要する。(P24)	★★ 11箇所 ①3・4年下「つなぐんぐん」では、広告紙を細く筒状に丸めたり、輪ゴムで束ねていくなどの手指の巧緻性や上腕の操作性が必要となるため、配慮を要する。(P24) ②5・6年下「自然を感じるすてきな場所」では、実際に木の葉や植物などに触れる活動があり、配慮を要する。(P22)
構成上の工夫	ふりがな	初出有	初出有
	解説文等がついている作品数	41	57
	折り込みページの箇所数	6箇所	6箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①体験の不足等を補えるように、図版が鮮明で理解がしやすいもの。 ②ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの	①5・6年下「龍を見る」では、ページのほぼ全面に作品の写真が示してある。(P31) ②ほぼ全ての単元が見開きで構成されている。	①3・4年上「くぎうち トントン」では、金づちで釘を素材に打ち付ける様子や作品の写真が、見開きのページのほぼ全面に示してある。(P32) ②ほぼ全ての単元が見開きで構成されている。
	③安全への配慮箇所数	38箇所	107箇所

小学部 家庭(聴覚障害特別支援学校)

略 称		東 書	開隆堂
内 容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる 単元等について ①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ②生活経験を広げるような学習活動を紹介しているもの。	☆☆☆☆ 15箇所 ①「夏をすずしくさわやかに」では、吹き流しや風車を使って風通しを調べる活動があり、視覚を活用して学習ができる。(P88) ②「生活を変えるチャンス！2」では、整理・整頓と掃除の学習を生かして、家庭における年末のそうじについて紹介されており、生活経験を広げることができる。(P61)	☆☆☆☆ 17箇所 ①「整理・整とんで快適に」では、学校内の整理・整とんの状況を調べる活動があり、視覚を活用して学習ができる。(P29) ②「家庭で実践しよう チャレンジコーナー」では、家庭でできる昼食作りや弁当包み作りなどの実践が紹介されており、生活経験を広げることができる。(P37)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	★★★★ 10箇所 ①「食べて元気！ご飯とみそ汁」では、ご飯が炊けている様子を、音を聞いて確認する活動があり、学習の際に配慮を要する。(P43)	★★ 4箇所 ①「すずしく快適に過ごす住まい方」では、涼しさを感じるために、小鳥の声や風鈴の音などの、音を聞く活動が紹介されており、学習の際に配慮を要する。(P96)
構 成 上 の 工 夫	本文の文字の大きさ	12ポイント	12ポイント
	欄外の文字の大きさ	9ポイント	7ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①作業手順や学習のポイントなどが、イラストや写真等で視覚的に説明してある。(P82、83など)	①作業手順や学習のポイントなどが、イラストや写真等で視覚的に説明してある。(P30、31など)
	②図やイラストで安全に関する事項を取り上げた箇所	22箇所	18箇所
参 考	性差と家族についての扱い	あり	あり

小学部 家庭(肢体・病弱障害特別支援学校)

略 称		東 書	開隆堂
内 容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、実際に学習しやすい活動があるもの。 ②経験不足を補えるように、生活に結び付いた学習活動が示されているもの。 ③肢体不自由や病弱の理解にかかわる記述があるもの。	☆☆☆☆ 32箇所 ①「夏をすずしくさわやかに」では、布の性質を比べる方法が、触ること以外にも複数示してある。(P90) ②「私の生活、大発見！」では、家庭内で自分で行えることを、表でまとめて記入する活動が示してある。(P13) ③「あなたは家庭や地域の宝物」では、地域には「障害がある人」など様々な人々が暮らしていることが示しており、車いすの子供がリフト付バスに乗り込むところが表示されている。(P122)	☆☆☆☆ 39箇所 ①「クッキングははじめの一歩」では、糸や卵を複数の器で切る方法が示してある。(P16) ②「整理、整とんで快適に」では、どのように部屋を整理、整頓すればよいかについて、部屋の写真を分割し、学習活動を提示してある。(P29) ③「生活を支えるお金と物」では、車いすを利用している男性が示されている。(P59)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。 ②安全への配慮から、道具等の取扱いに困難が想定されるもの。 ③アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。	★★★★ 53箇所 ①「ひと針に心をこめて」では、はさみや針の取扱いがあるため、困難が想定される。(P25) ②「朝食から健康な1日の生活を」では、火や包丁の取扱いがあるため、困難が想定される。(P82) ③「おいしい楽しい調理の力」ではゆでたまごの学習があり、配慮を要する。(P18)	★★★★ 51箇所 ①「ソーイングはじめの一歩」では、はさみや針の取扱いがあるため、困難が想定される。(P22) ②「クッキング初めの一歩」では、火や包丁の取扱いがあるため、困難が想定される。(P14) ③「食べて元気」では、みそ汁の学習があり、アレルギー疾患等への配慮を要する。(P52)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	12ポイント	12ポイント
	欄外の文字の大きさ	9ポイント	7ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有
	障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視の困難を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で記されたもの。 ②写真、図表等で視覚的に手順や違い等が説明されているもの。 ③ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①「調理実習技能」に関する写真の多くは、大きく表示してある。(P130) ②「お茶の種類」について、各種茶葉の違いが分かるように写真で示してある。(P12) ③「物を生かして住みやすく」では、学習部屋の異なる様子を見開きで提示し学べるようになっている。(P50、51)	①「できることを増やしてクッキング」では、背景色を付けた図や写真を使って手順が示してある。(P86) ②「クッキングはじめの一歩」では、ジャガイモや卵の加熱時間の違いによる変化を、写真で示してある。(P16) ③「すずしく快適に過ごす着方と手入れ」では、見開きの左から右に、選択の手順が示してある。(P100)
	④図やイラストで安全に関する事項を取り上げた箇所	22箇所	18箇所
参考	性差と家族についての扱い	あり	あり

小学部 保健(聴覚障害特別支援学校)

略 称		東 書	大日本	文教社	光文	学研
内 容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	☆☆☆ 15箇所 ①5・6年「事故やけがの原因」では、イラストの中から事故やけがの原因となることを探す活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P20、21) ②なし	☆☆☆ 15箇所 ①3・4年「大きくなってきたわたし」では、付録にあるシールを活用して、自分の身長の変化を調べる活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P25) ②なし	☆☆☆☆ 16箇所 ①3・4年「体のせいけつ」では、脱脂綿を使って手の汚れを調べる活動があり、体験的な学習ができる。(P11) ②なし	☆☆☆☆ 20箇所 ①3・4年「身の回りのかんきょう」では、部屋の明るさの調整や空気の入替えなど、健康に過ごすための方法を調べる活動があり、体験的な学習ができる。(P18、19) ②なし	☆☆☆ 15箇所 ①5・6年「交通事故の防止」では、学校から家までの道にある道路標識やカーブミラー等を調べる活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P23) ②なし
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動等があり、学習活動に困難が想定されるもの。	★★★ 5箇所 ①3・4年「外で遊ぶときに注意すること」では、知らない人に声を掛けられた時の行動に関する記載があり、学習の際に配慮が必要である。(P44)	★★★ 6箇所 ①5・6年「不安やなやみがあるとき」では、相談機関への電話相談に関する記載があり、学習の際に配慮が必要である。(P15)	★★★ 5箇所 ①5・6年「けがの手当て」では、怪我をしている人を見つけたときに電話で通報する記載があり、学習の際に配慮が必要である。(P25)	★★★★ 8箇所 ①5・6年「自然災害から身を守る」では、電車やバスの車内で災害が起きたときの行動に関する記載があり、学習の際に配慮が必要である。(P36)	★★★ 6箇所 ①3・4年「かけがえのない健康」では、休養の例として音楽を聞く活動の記載があり、学習の際に配慮が必要である。(P7)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	3・4年 15ポイント	3・4年 14ポイント	3・4年 13ポイント	3・4年 15ポイント	3・4年 16ポイント
	欄外の文字の大きさ	5・6年 15ポイント 10ポイント	5・6年 14ポイント 9ポイント	5・6年 12ポイント 9ポイント	5・6年 13ポイント 8ポイント	5・6年 14ポイント 8.5ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。	①3・4年「体の成長とわたし」では、現在の自分と比較できるよう、1才頃の赤ちゃんの手形や靴の原寸大の写真を示してある。(P24、25)	①5・6年「心と体のつながり」では、不安な時や緊張したときの心と体の関係について、イラストで視覚的に説明してある。(P11)	①5・6年「病気の予防」では、病気の主な原因について、絵や図で視覚的に説明してある。(P32)	①5・6年「生活習慣の予防②」では、正しい歯の磨き方についてイラストで視覚的に説明してある。(P53)	①3・4年「1日の生活のしかた」では、登場人物の生活リズムの違いについて、時間に沿ってイラストで対比して視覚的に示してある。(P8)
参 考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり

小学部 保健(肢体・病弱障害特別支援学校)

略 称		東 書	大 日 本	文 教 社	光 文	学 研
内 容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①健康な生活や病気の予防、けがの手当て等が取り上げられているもの。	☆☆☆ 19箇所 ①3・4年「けんこうによい1日の生活」では、1日の過ごし方を示し、生活リズムの大切さが取り上げられている。(P12)	☆☆ 13箇所 ①5・6年「生活のしかたと病気の予防②」では、虫歯や歯茎の病気の予防について具体的に上げられている。(P44)	☆☆☆ 18箇所 ①5・6年「けがの手当」では、けがをしたときの対処の仕方を、フローチャートや図等で取り上げてある。(P24、25)	☆☆☆ 15箇所 ①5・6年「感染症の予防」では、せきやくしゃみから他人に感染させないためのマスクの使用法などが示してある。(P42)	☆☆☆ 15箇所 ①5・6年「けがの手当」では、けがをしたときの対応等を具体的に取上げてある。(P30)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。	★★★★ 4箇所 ①5・6年「けがの手当」では、けがの手当をする実習があり、上肢の操作を伴うため、配慮が必要である。(P44)	★★★ 3箇所 ①3・4年「大きくなってきたわたし」では、付録にあるシールを活用してグラフを作成する活動があり、上肢の操作を伴うため、配慮が必要である。(P25)	★★ 2箇所 ①3・4年「体の発育」では、グラフへ色を塗る活動があり、上肢の操作を伴うため、配慮が必要である。(P20)	★★ 2箇所 ①3・4年「変化していく体」では、グラフへ色を塗る活動があり、上肢の操作を伴うため、配慮が必要である。(P24)	★★ 2箇所 ①3・4年「変化してきたわたしの体」では、身長伸びをグラフに表す活動で、紙テープを切り取って台紙に貼る作業があり、上肢の操作を伴うため、配慮が必要である。(P22)
構 成 上 の 工 夫	本文の文字の大きさ	3・4年 15ポイント 5・6年 15ポイント	3・4年 14ポイント 5・6年 14ポイント	3・4年 13ポイント 5・6年 12ポイント	3・4年 15ポイント 5・6年 13ポイント	3・4年 16ポイント 5・6年 14ポイント
	欄外の文字の大きさ	10ポイント	9ポイント	9ポイント	8ポイント	8.5ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視の困難を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で記されているもの。 ②通院等による学習空白のため、学習のポイント等が簡潔に記されて理解しやすいもの。 ③写真、図表等で視覚的に説明されているもの。 ④ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①5・6年「心と体のつながり」では、活動する内容の見出しは赤に白抜きで文字が書かれ、見るポイントを薄いピンクの線で枠取りしてある。(P9) ②3・4年「けんこうな生活」では、単元ごとのまとめが記載してある。(P23) ③5・6年「交通事故の防止」では、大きな写真で視覚的に課題の提示がされ、グラフで事故状況ごとの負傷者数が示してある。(P29) ④なし	①3・4年「1日の生活のしかた」では、活動する内容の箇所が薄い黄色で網掛けされ、緑の点線で枠取りしてある。(P10) ②5・6年の巻末に6年生のまとめが示してある。(P56) ③5・6年「病原体と病気の予防」では、病原体の写真やイラストを使って、視覚的に説明してある。(P38) ④3・4年「1日の生活のしかた」では、見開きで学習できるようにしてある。(P10,11)	①3・4年 単元ごとに学習のポイントを枠囲みで記し、キーワードは字体を変え、太字で示してある。(P15) ②3・4年 単元ごとに学習のポイントを枠囲みで記してある。(P23) ③5・6年「不安やなやみへの対処①」では、対処方法についてイラストで示してある。(P9) ④5・6年「けがの手当て」の発展では、見開きページ全面にイラストと写真で、災害時に考えるポイントを示してある。(P28、29)	①3・4年 キーワードを字体を変えて太字で記している。(P19) ②5・6年 章末に学習のまとめが示してある。(P38) ③3・4年「変化していく体」では、イラストとグラフで個人差について示してある。(P26、27) ④5・6年「心の発達」では、見開きで全面にイラストと写真で、様々な経験、人との関わり等の例が示してある。(P10、11)	①3・4年 重要な用語を太字で示してある。(P24) ②5・6年 各単元の表題の横に「ここで学ぶこと」として、学習ポイントを枠囲みで示してある。(P30) ③5・6年「交通事故の防止」では、交通事故を防ぐための工夫について、写真で示してある。(P23) ④5・6年「病気の起こり方」では、見開きページで学習の内容を示してある。(P34、35)
参 考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり

略 称		東 書	開隆堂	学 図	三省堂	教 出	光 村	啓林館
内 容	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	☆☆☆☆ 33箇所 ①6年「My best Memory」では、小学校の思い出のアルバムを作る活動があり、視覚を活用した作業的な学習ができる。(P69) ②5年「What do you want to study」では、ニュージーランドでは手話が公用語に指定されていることについての記述がある。(P33)	☆☆☆☆ 35箇所 ①6年「Watch the world」では、様々な国の伝統衣装の写真と国旗とを見て、線で結ぶ活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P43) ②5年「I love my town.」では、絵を見て、ジェスチャーを考える活動があり、手話表現と関連付けて学習できる。(P71)	☆☆☆ 22箇所 ①5年「What sPort do you like?」では、Lessonの最後にある「AlPhabet Corner」で、絵の中に隠されたアルファベットを探す活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P32) ②なし	☆☆☆ 25箇所 ①5年「I Play soccer on Mondays.」では、スリーヒントクイズを作る活動の中で、ヒントを絵に描いて提示する例が紹介されており、視覚を活用した作業的な学習ができる。(P74) ②なし	☆☆☆☆ 30箇所 ①5年「I can run fast.」では、友達とベアになって、動物になりきってクイズを出し合う活動があり、動きを活用した学習ができる。(P59) ②5年「Let's Look at the World」では、文字と絵でアメリカの手話に関する記述があり、聴覚障害に関わる学習ができる。(P91)	☆☆☆☆ 34箇所 ①5年「What time do you get up?」では、様々な表情の動物や人の写真等を見て、どんな気持ちか考える活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P61) ②6年「My Best Memory」では、日本の手話やアメリカの手話、国際手話についての紹介があり、聴覚障害に関わる学習ができる。(P89)	☆☆ 13箇所 ①5年「let's read and Write 6」では、写真の中にあるアルファベットを見つけて書き写す活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P71) ②なし
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①音声を聞き分けて答える活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。 ②電話やインタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に配慮が必要であるもの。	★★★ 93箇所 ①5年の巻末の資料において、音声を聞いて、アクセントの位置を探す活動があり、学習活動に困難がある。(P94) ②6年「My Future, My Dream」では、中学校で入りたい部活動や将来になりたい職業について、友達にインタビューをする活動があり、学習の際に配慮を要する。(P75)	★★★★ 137箇所 ①5年「パーティーを楽しもう。」では、スイカわりゲームにおいて目隠しをして、音声の指示を聞いて動く活動があり、学習活動に困難がある。(P35) ②6年「I have a dream.」では、将来の夢をテーマにインタビュー・ビンゴをする活動があり、学習の際に配慮を要する。(P62)	★★★★ 164箇所 ①6年「What festival do you want to see?」では、遊園地で複数の人の音声を聞き分けて答える活動があり、学習活動に困難がある。(P44) ②5年「What would you like?」では、友達同士でレストランの店員と客になって注文のやりとりをする活動があり、学習の際に配慮を要する。(P112)	★★★★ 112箇所 ①6年「I went to Hawaii.」では、1枚の樹木の写真を見て、関連する内容の音声を聞く活動があり、学習活動に困難が想定される。(P59) ②5年「It is in the box.」では、友達とベアになって、道案内をする活動があり、学習の際に配慮を要する。(P86、87)	★★★ 109箇所 ①5年「I have P.E. on Monday.」では、英語とカタカナ語の違いに気を付けて音声を聞いて答える活動があり、学習活動に困難がある。(P42) ②6年「My town is beautiful.」では、友達同士で、自分の町にあるお薦めの場所について尋ね合う活動があり、学習の際に配慮を要する。(P27)	★★★★ 135箇所 ①5年「What would you like?」では、レストランのメニューを読む音声を聞きながら、文字を指で追う活動があり、学習活動に困難がある。(P88) ②6年「He is famous.She is great.」では、友達同士で司会者とゲストを演じ、トークショーをする活動があり、学習の際に配慮を要する。(P67)	★★★ 112箇所 ①6年「What did you do last weekend?」では、日記を読んでいる音声を聞いて、日付や内容を答える活動があり、学習活動に困難がある。(P58) ②5年「I study math on Monday.」では、友達に好きな教科を聞いて、ランキングの棒グラフを作る活動があり、学習の際に配慮を要する。(P23)
構成上の工夫		①5年「Where is the Post office?」では、世界の標識の写真やピクトグラムの例を、見開きで示してある。(P52、53) ②各Unitの会話に関する内容のページには、ポイントとなる文章を枠囲みで示してある。(5年P10など)	①5年「My Hero」では、登場人物の会話のやり取りが、漫画調で構成されている。(P52、53) ②各Lessonの最後に、「ふりかえりをしよう」として、目標項目ごとに達成度を振り返る活動が示してある。(6年P17など)	①各Lessonの扉のページに、学習の進め方を、学習時間の目安とともに、図で示してある。(5年P69など) ②5年「Can you walk on takeuma?」では、Lessonの最後のページに「英文の書き方」として、英文を書く時の決まりが、太枠や文字で示してある。(P94)	①6年「世界のまつり」では、各国の祭りについて、写真と文章で説明してある。(P36、37) ②巻末に「〇年生で学習した主な表現」として、各Lessonで取り扱った表現を色付きの枠囲みで示してある。(5年P128など)	①6年「My Summer Vacation」では、日本語と英語の語順の違いを図表で説明してある。(P51) ②各Lessonの最後に、学習の目標に対して、振り返る活動がある。(6年P21など)	①5年「Where is the gym?」では、位置を示す前置詞の使い方について、絵で示してある。(P99) ②各Unitの最初に学習の目標、最後に振り返りができる記述がある。(6年P19、25など)	①「Chant」のコーナーのリズムに合わせて英文を言う活動では、リズムを意識する単語の上に、赤い点が打ってあり、リズムを視覚的に理解しやすい。(6年P33など) ②各Unitの最後に、学習の目標に応じて振り返りができる記述が枠囲みで示してある。(5年P18など)
参 考	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	防災や自然災害の扱い	あり	なし	あり	なし	あり	あり	なし
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	なし	あり	あり	あり

略 称		東 書	開隆堂	学 図	三省堂	教 出	光 村	啓林館
内 容	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①生活に結び付く身近な内容など、児童がイメージしやすい題材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解にかかわる記述があるもの。	☆☆☆ 27箇所 ①6年「This is me!」では、自分の好きな事や誕生日を発表する活動があり、生活に身近な内容である。(P18、19) ②5年「Where is the post office?」では、世界の地図や標識の紹介の中で、車椅子利用者を表すピクトグラムがある。(P53)	☆☆☆ 35箇所 ①5年「What would you like?」では、ランチメニューを考える活動があり、生活に身近な内容である。(P60) ②6年「世界を目指すスポーツ選手」では、ボッチャや車椅子バスケットボールの選手の写真がある。(P39)	☆☆☆ 36箇所 ①5年「What time do you get up on sunday?」では、休日の起床時間や食事の時間を聞いたり答えたりする活動があり、生活に身近な内容である。(P73) ②6年「What festival do you want to see?」では、遊園地の様子を表している絵の中に、車椅子を利用している人の絵がある。(P44、45)	☆☆ 25箇所 ①6年「I went to Hawaii.」では、夏休みに行った場所と、そこでしたことについて伝える活動があり、生活に身近な内容である。(P42、43) ②5年「She is a cook.」では、音声聞いて性別を答える活動の中に、看護師がストレッチャーを押している写真がある。(P48)	☆☆ 23箇所 ①5年「I have P.E. on Monday.」では、夢の時間割りについて考える活動があり、学校生活に身近な内容である。(P34、35) ②6年「Olympics and Paralympics」では、車椅子バスケットボールや車椅子テニスなど、パラリンピックススポーツの写真がある。(P64、65)	☆☆☆☆ 52箇所 ①5年「He can run fast. She can do kendama.」では、自分や友達ができることやできないことについて、聞いたり紹介したりする活動があり、学校生活に身近な内容である。(P63) ②6年「What do you want to watch?」では、様々なスポーツ競技のテレビ中継の紹介の中に、車椅子テニスやシットリングバレーボールなど、複数のパラリンピック競技の写真がある。(6年P38、39)	☆☆☆☆ 46箇所 ①6年「I enjoyed school.」では、小学校の思い出について尋ねたり答えたりする活動があり、学校生活に身近な内容である。(P64、65) ②5年「She can sing well.」では、地域の公園や体育館で様々な活動をしている絵の中に、車椅子に乗っている子供の絵がある。(P42)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。 ②文の中で強く読む部分を意識したり、文末の発音の上げ下げに気を付けて読んだりすることを扱っており、学習の際に配慮が必要であるもの。	★★ 29箇所 ①5年「Welcome to japan」では、音声聞いて、空欄に番号を書く活動があり、学習の際に困難がある。(P46、47) ②6年「学び方みいつけた1 会話の場面」では、文末の読み方は上がり調子か、下がり調子かを考える活動があり、学習の際に配慮を要する。(P4)	★★★ 36箇所 ①6年「We are friends.」では、友達と足し算じゃんけんをする活動があり、学習の際に困難がある。(P5) ②5年「発音クリニック」では、音声聞いて、文末の発音を上げたり下げたりする活動があり、学習の際に配慮を要する。(P107)	★★★ 36箇所 ①5年「Where is the beach ball?」では、教科書の地図上で、指示されたところに指を動かす活動があり、学習の際に困難がある。(P62) ②なし	★★★ 32箇所 ①6年「My best memory is…」では、紙を切ったり折ったりして、メモリーブックを作る活動があり、学習の際に困難がある。(P74) ②なし	★★ 30箇所 ①6年「Let's be friends.」では、音声で聞いたことを、教科書の絵を見て線で結ぶ活動があり、学習の際に困難がある。(P14) ②各Lessonの最後に、文の中で強く読むところや文末の上がり下がりについて、気を付けて読む活動があり、学習の際に配慮を要する。(5年P55など)	★★ 23箇所 ①6年「He is famous. She is great.」では、有名人の似顔絵を描いて人当てクイズをする活動があり、学習の際に困難が想定される。(P65) ②なし	★★★★ 63箇所 ①6年「I want a big park in our town.」では、自分の住む地域にあるものを一つ言い、教科書に書き込む活動があり、学習の際に困難がある。(P33) ②各Unitの中のPartごとに、リズムに合わせて英語の文章を読む活動があり、学習の際に配慮を要する。(6年P12など)
構成上の工夫		①各Unitの始まりでは、英語と日本語で単元のテーマを大きな文字で簡潔に示してある。(5年P10など) ②各Unitの会話に関する内容のページには、ポイントとなる文章を枠囲みで示してある。(5年P14など) ③④各Unitの始まりでは、単元に関連する写真や絵を見開きで示してある。(6年P34、35など)	①各Lessonの始まりに、英語と日本語で単元のテーマを大きな文字で簡潔に示してある。(6年P60など) ②各Lessonの最後に、学習の目標に応じて振り返りができる記述がある。(5年P17など) ③④各Lessonの始まりでは、単元に関連する写真や絵を見開きで示してある。(5年P18、19など)	①各Lessonの始まりでは、英語で単元のテーマを示してある。(5年P22など) ②各Lessonの最後に、学習の目標に応じて振り返りができる記述がある。(6年P27など) ③④各Lessonの始まりでは、単元に関連する絵を見開きページで視覚的に示してある。(6年P68、69など)	①各Lessonの始まりでは、英語と日本語で単元のテーマを大きな文字で示してある。(5年P16、17など) ②大きな単元「HOP」の始まりに「Get Ready」として、単元での活動内容や目標を示してある。(5年P15など) ③④各Lessonの始まりでは、単元に関連する絵を見開きで示してある。(6年P16、17など)	①各Lessonの始まりでは、英語で単元のテーマを大きな文字で示してある。(6年P12など) ②各Lessonの最後に、学習の目標に応じて振り返りができる記述がある。(5年P23など) ③④各Lessonの始まりでは、単元に関連する絵を見開きで示してある。(5年P46、47など)	①各Unitの始まりでは、英語で単元のテーマを、日本語で目標を示してある。(5年P20、21など) ②各Unitの最後に、学習の目標に応じて振り返りができる記述がある。(5年P27など) ③④各Unitの始まりでは、単元に関連する絵を見開きで示してある。(5年P62、63など)	①各Unitの始まりでは、大きな英字で単元のテーマが、日本語で学習目標が、それぞれ示してある。(5年P10、11など) ②各Unitの最後に、学習の振り返りができる記述がある。(5年P18など) ③④各Unitの始まりでは、単元に関連する絵を見開きで示してある。(6年P10、11など)
参 考	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	防災や自然災害の扱い	あり	なし	あり	なし	あり	あり	なし
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	なし	あり	あり	あり

略 称		東 書	学 園	教 出	光 村	日 文	光 文	学 研	廣あかつき
内 容	聴覚障害の児童が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について ①身近な題材について、体験を通して考えるなど、学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの。	☆☆☆ 33箇所 ①1年「みんなのボール」では、休み時間の後片付けの場面を取り上げており、自分の日常体験を基に学習することができる。(P78) ②3年「耳の聞こえないお母さんへ」では、聴覚障害者との意思疎通に関する内容を取り上げている。(P77)	☆☆☆☆ 38箇所 ①2年「ゲームをしていたつもりなのに」では、日常生活に密接なスマートフォンの、利用上の問題を漫画形式で示してある。(P72) ②なし	☆☆☆☆ 40箇所 ①1年「なんていったらよいのかな」では、登下校や休み時間等、学校生活に身近な場面を取り上げ、場面に応じた言葉を考えさせる工夫がされている。(P64) ②なし	☆☆☆☆ 43箇所 ①3年「係の仕事に取り組むとく」では、様々な場面でのあいさつについて、役割を分担して学習する活動を示してある。(P76) ②4年「見えないしょうがいの人に気づくこと」では、見えない障害の例として聴覚障害を取り上げ、ヘルプマークが紹介されている。(P118)	☆☆ 22箇所 ①1年「どんなあいさつをしますか」では、様々な場面でのあいさつについて、役割を分担して学習する活動を示してある。(P72) ②5年「ヘレンと共に」では、指話法や読唇術など、聴覚障害の理解に関わる記述がある。(P98)	☆☆☆☆ 38箇所 ①4年「自分たちができるエコ活動」では、日常生活に密接なごみ問題を、街で見る掲示を示しながら取り扱っている。(P48) ②なし	☆☆☆☆ 50箇所 ①1年「はりきりいねんせい」では、学校生活での正しい行動や振る舞いを考える活動が取り上げられている。(P14) ②6年「温かい行為が生まれるとき」では、聴覚障害者や視覚障害者の事例が取り上げられている。(P38、39)	☆☆☆ 36箇所 ①4年「一まいの写真から」では、日常生活に身近な電車の駅の写真が示してあり、何をしている場面が考えさせる活動が取り上げられている。(P65) ②5年「ぼくの名前よんで」では、主人公の両親が聴覚及び言語障害者である題材が取り上げられている。(P71)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動が含まれ、学習活動に困難が想定されるもの。 ②インタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの。 ③方言や特徴的な言い回し等を用い、読解の際に説明が必要であるもの。	★★ 11箇所 ①4年「ぼくらだてオーケストラ」では、楽器(リコーダー)の奏法や音階に関する記述があるため、取り扱う際に配慮を要する。(P83) ②3年「なかよしだから」では、会話文で物語が進行する箇所があり、支援が必要である。(P71) ③5年「ひさの星」では、方言で表現されている箇所があるため、読解の際に説明が必要である。(P34)	★★ 13箇所 ①3年「めざまし時計」では、時計の音や母親の声で起床するという内容があり、取り扱う際に配慮を要する。(P6) ②5年「ゴールデンルール」では、会話形式で展開するため、発言者が誰であるかを示すなどの支援が必要である。(P17) ③4年「泣いた赤おに」では、青おにの手紙が片仮名で書かれているため、読解の際に説明が必要である。(P35)	★★ 13箇所 ①2年「教えていいのかな」では、電話の受け答えを考えさせるロールプレイが取り上げられており、取り扱う際に配慮を要する。(P37) ②なし ③3年「花さき山」では、本文が主人公の独特の表現の語りで進められ、また方言も用いられているため、読解の際に説明が必要である。(P92)	★★★★ 19箇所 ①2年「お月さまとコロ」では、主人公の昆虫の気持ちを鳴き声で表現している場面があり、取り扱う際に配慮を要する。(P84) ②3年「学校のぶどう」では、会話形式で展開する場面があり、発言者が誰であるかを示すなどの支援が必要である。(P151) ③4年「『正直』五十円分」では、会話の表現に方言が用いられており、読解の際に説明が必要である。(P76)	★★★★ 28箇所 ①2年「れいぎについて考えてみよう。」では、電話をかける活動が取り上げられており、取り扱う際に配慮を要する。(P30) ②4年「ええことするのは、ええもんや!」では、会話形式で展開する場面があり、発言者が誰であるかを示すなどの支援が必要である。(P57) ③3年「助かった命」では、擬音語や声の描写について、説明が必要である。(P128)	★★★★ 17箇所 ①なし ②なし ③6年「広村堤防の清掃ボランティア」では、方言が多用されており、読解の際に説明が必要である。(P66)	★★★★ 29箇所 ①6年「古きよき心」では、本文に引用されている随筆に、聴覚障害により理解が難しい表現があり、取り扱う際に配慮を要する。(P41) ②2年「青いアルバム」では、会話形式で展開する場面があり、発言者が誰であるかを示すなどの支援が必要である。(P94) ③2年「おもしろいしゃになる」では、会話の表現に方言が用いられており、読解の際に説明が必要である。(P80)	★★ 11箇所 ①1年「とくとくとく」では、胸に耳を当てて心臓の音を聞く場面があり、取り扱う際に配慮を要する。(P86) ②5年「妹のカード」では、会話形式で展開する場面があり、発言者が誰であるかを示すなどの支援が必要である。(P81) ③1年「あぶら山」では、文末に独特な表現が用いられているため、説明が必要である。(P94)
構 成 上 の 工 夫	本文の文字の大きさ	1年最初 20ポイント 6年最後 13ポイント	1年最初 20ポイント 6年最後 15ポイント	1年最初 19ポイント 6年最後 14ポイント	1年最初 20ポイント 6年最後 14ポイント	1年最初 20ポイント 6年最後 14ポイント	1年最初 17ポイント 6年最後 14ポイント	1年最初 22ポイント 6年最後 15ポイント	1年最初 20ポイント 6年最後 14ポイント
	1ページの基本的な文字数	1年最初 20文字×11行 6年最後 41文字×19行	1年最初 32文字×15行 6年最後 42文字×20行	1年最初 29文字×13行 6年最後 40文字×20行	1年最初 30文字×13行 6年最後 44文字×16行	1年最初 30文字×14行 6年最後 42文字×19行	1年最初 33文字×17行 6年最後 41文字×17行	1年最初 34文字×14行 6年最後 40文字×19行	1年最初 29文字×14行 6年最後 36文字×20行
	欄外の文字の大きさ	1年 10ポイント 6年 9.5ポイント	1年 なし 6年 9ポイント	1年 13ポイント 6年 8.5ポイント	1年 9.5ポイント 6年 8.5ポイント	1年 10.5ポイント 6年 10.5ポイント	1年 13ポイント 6年 10ポイント	1年 なし 6年 7.5ポイント	1年 なし 6年 8ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	1年は漢字・カタカナ全て、2年以上は未習得及び難読漢字有	1年は漢字・カタカナ全て、2・3年は漢字全て、4年以上は未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①4年「雨のバスでいりゆう所」では、本文に記述している登場人物の表情などをイラストで表現している。(P150) ・6年「世界のために働く人たち」では、国境なき医師団の救援活動の様子を写真で示してある。(P121)	①5年「ごちそうの向こうに」では、バイキングでのマナーが漫画形式で示してある。(P10) ・1年「『ありがとう』を見つけよう」では、学校や町中の様子を、イラストを用いて見開きで示してある。(P54、55)	①4年「十才のプレゼント」では、本文に記述している夜明けの山や空の情景を、写真で示してある。(P26) ・5年「よさこいソーラン祭り」では、本文に出てくる場所や物事を写真で示してある。(P26)	①3年「友だちとのかかわりについて考えよう」では、学校生活での、友達との関わりがイラストで表現してある。(P33) ・2年「ぶらんこ」では、本文と対応する挿し絵がページの下下に示してある。(P28)	①3年「ダブルブックング」では、話の内容が漫画形式で示してある。(P144) ・6年「自分を守るかって?」では、説明文の内容をイラストで示してある。(P132)	①3年「心の優先席」では、意見を述べている人物のイラスト、意見の内容とそれを表すイラストが、一つずつの枠で囲んで示してある。(P34) ・2年「オリンピックとパラリンピックのはたし」では、会話文の登場人物ごとの台詞の前に、発言者の顔がイラストで示してある。(P52)	①3年「みんなの学級会」では、話合いの場面が漫画形式で示してある。(P86) ・4年「友だちが泣いている」では、登場人物の顔と表情がイラストで示してある。(P60)	①2年「こんなときどうするの」では、説明文とイラストを並べて示してある。(P96) ・3年「夜ふかししたら」では、時間の経過がイラストと矢印で示してある。(P16)
参 考	国旗・国歌の扱い	なし	あり	あり	なし	あり	なし	なし	なし
	防災や自然災害の扱い	なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし

略 称		東 書	学 園	教 出	光 村	日 文	光 文	学 研	廣あかつき
内 容	肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について ①学校生活などでイメージしやすい身近な教材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。	☆☆ 30箇所 ①2年「ほく」では、自分の好きなもの等、自分に関するものを取り上げている。(P77) ②5年「バスステップバスのできごと」では、車いすでのバス乗車について取り扱っている。(P41)	☆☆☆☆ 54箇所 ①2年「いただきます」では、給食の調理工程や献立を取り上げている。(P84) ②3年「パラリンピックを知ろう」では、障害者スポーツの歴史や競技についての記述がある。(P117)	☆☆☆☆ 50箇所 ①4年「世界の子どもたちのために」では、給食や朝ご飯、夕ご飯のことを取り上げている。(P114) ②6年「人生を変えるのは自分」では、骨肉腫により義足を使っているパラリンピックを目指す選手について取り扱っている。(P6)	☆☆ 23箇所 ①2年「どうしてうまくいかないのかな」では、学校の授業での悩みを取り上げている。(P94) ②4年「みんな、待っているよ」では、題材に院内学級を取り扱っている。(P50)	☆☆ 22箇所 ①2年「どうしてないてるの」では、授業で使用する教科書や鉛筆、消しゴムを題材に取り扱っている。(P118) ②1年「オリンピック・パラリンピック」では、車いす陸上競技を取り扱っている。(P44)	☆☆☆☆ 64箇所 ①1年「あいさつでげんきに」では、一日に使う様々な挨拶について取り扱っている。(P12、13) ②5年「変えたもの・変えなかったもの」では、入院生活やけがを克服しながら、自分を伸ばすプロ野球選手についての内容を取り扱っている。(P92)	☆☆☆ 38箇所 ①6年「会話のゆくえ」では、スマートフォンでの会話のやり取りを取り扱っている。(P110) ②5年「UDって何だろう」では、ユニバーサルデザインやバリアフリー等のピクトグラムに関する記述がある。(P103)	☆☆☆ 47箇所 ①1年「大すきなかぞく」では、家族のことや家庭での役割について取り扱っている。(P48) ②4年「だれもが住みよい社会に」では、バリアフリーについて取り上げている。(P129)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①視機能の障害や上肢の操作性等から学習活動に困難が想定されるもの。 ②病気の治療などによる運動制限から、経験しにくい体験的活動を扱った教材が取り上げられているもの。 ③各学年の生徒数が少ないため、集団活動が含まれるなど取扱いが困難と思われる内容が取り上げられているもの。	★★★ 77箇所 ①4年「紙しばいをつくって発表しよう」では、ページをめくり返して作業する活動があり、困難が想定される。(P96) ②3年「いいち、にいいち、にいいち」では、運動会の種目で二人三脚を題材として取り上げている。(P33) ③6年「修学旅行の夜」では、修学旅行の部屋で集団でおしゃべりをする場面が取り上げられている。(P76)	★★★★ 128箇所 ①1年「十四ひきのお月見」では、挿絵全体の色調が単色で示されており、困難が想定される。(P36) ②6年「思いやりのかたち」では、電車の座席を譲る体験を取り扱っている。(P32) ③5年「みんなで『ありがとう六年生！』」では、グループになって活動する場面を取り上げている。(P133)	★★★★ 113箇所 ①1年「生きているじぶん」では、体の部位に触れる活動を取り扱っており、学習に困難が想定される。(P46) ②3年「ドッジボール大会」では、ドッジボールを題材として取り上げている。(P79) ③5年「森の絵」では、クラスでの劇の役割分担や劇発表の場面を取り上げている。(P70)	★★★★ 100箇所 ①6年「まどさんからの手紙」では、背景のイラストに文字を重ねて示しており、配慮を要する。(P12) ②2年「ほくのサッカーシューズ」では、サッカーが題材として取り上げられている。(P44) ③5年「クール・ボランティア」では、グループで話し合う場面を取り上げている。(P120)	★★★ 94箇所 ①6年「ほくのお茶体験」では、茶道について取り上げられており、正座等の作法について、取扱いに配慮を要する。(P36) ②4年「ほんとうに上手な乗り方とは」では、自転車の運転を題材として取り上げており、配慮を要する。(P71) ③3年「学級しようかい」では、長縄跳びに取り組む学級を題材に取り上げている。(P60)	★★★★ 106箇所 ①1年「まなびのあしあと」では、1ページに12回分の授業記録を記入する活動が取り上げられており、配慮を要する。(P153) ②4年「さか上がり」では、鉄棒を使った運動の逆上がりが題材として取り上げられている。(P28) ③3年「きょうりゅうクラス」では、話し合いながら皆で協力して一つの絵を描く場面を取り上げている。(P132)	★★★★ 83箇所 ①1年「はりきりいねんせい」では、イラストに文字が重ねて表示してあるため、取扱いに配慮を要する。(P15) ②4年「クラスたいこう全員リレー」では、全員リレーを取り上げており、取扱いに配慮を要する。(P94) ③3年「みんなの学級会」では、学級会で多くの意見をまとめる活動を題材としている。(P86)	★★ 50箇所 ①3年「ふるしき」では、風呂敷を使った包み方について、取扱いに配慮を要する。(P38) ②2年「黄色いベンチ」では、ベンチに乗ったり、紙飛行機を飛ばしたりする題材を取り扱っている。(P24) ③4年「時計係」では、学級対抗のバスケットボール大会を取り上げている。(P85)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	1年最初 20ポイント 6年最後 13ポイント	1年最初 20ポイント 6年最後 15ポイント	1年最初 19ポイント 6年最後 14ポイント	1年最初 20ポイント 6年最後 14ポイント	1年最初 20ポイント 6年最後 14ポイント	1年最初 17ポイント 6年最後 14ポイント	1年最初 22ポイント 6年最後 15ポイント	1年最初 20ポイント 6年最後 14ポイント
	1ページの基本的な文字数	1年最初 20文字×11行 6年最後 41文字×19行	1年最初 32文字×15行 6年最後 42文字×20行	1年最初 29文字×13行 6年最後 40文字×20行	1年最初 30文字×13行 6年最後 44文字×16行	1年最初 30文字×14行 6年最後 42文字×19行	1年最初 33文字×17行 6年最後 41文字×17行	1年最初 34文字×14行 6年最後 40文字×19行	1年最初 29文字×14行 6年最後 36文字×20行
	欄外の文字の大きさ	1年 10ポイント 6年 9.5ポイント	1年 なし 6年 9ポイント	1年 13ポイント 6年 8.5ポイント	1年 9.5ポイント 6年 8.5ポイント	1年 10.5ポイント 6年 10.5ポイント	1年 13ポイント 6年 10ポイント	1年 なし 6年 7.5ポイント	1年 なし 6年 8ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	1年は漢字・カタカナ全て、2年以上は未習得及び難読漢字有	1年は漢字・カタカナ全て、2・3年は漢字全て、4年以上は未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有	未習得及び難読漢字有
	障害の状態に応じた事項、その他 ①通院等による学習期間の空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されているもの。 ②外出等の社会的経験の不足を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明されているもの。 ③ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①6年「タマゾン川」では、単元の最後に枠囲みで「考えるステップ」として、学習をまとめる活動が示してある。(P141) ②5年「ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ」では、ペンギンの様々な生態を写真で説明してある。(P60) ③4年「ほくらだってオーケストラ」では、単元のまとめとして、見開きで、友達に「ありがとう」の気持ちを伝える活動が示してある。(P87)	①全ての単元において別冊「まなび」で学習をまとめるようになっている。(1年別冊P7など) ②4年「人とシカとのきょうそんをめざして」では、写真やグラフ、新聞記事を用いて、説明されている。(P86) ③2年「ありとぎりぎりす」では、題材の文章が見開きで構成されている。(P78、79)	①2年「あいさつ」では、枠囲みで「やってみよう」のページがあり、学習をまとめるようになっている。(P15) ②5年「横浜港のガンマンの思い」では、クレヨンやそれを操作する人の様子を写真を用いて説明している。(P64) ③2年「気持ちのよいあいさつ」では、起床から就寝までの生活の流れを、イラストを用いて見開きで示してある。(P10、11)	①4年「弟のふる入れ」では、枠囲みで「考えよう・話し合おう」のページがあり、学習をまとめるようになっている。(P110) ②2年「おせちのみひつ」では、様々なおせち料理が写真で説明されている。(P139) ③1年「みんなじょうず」では、見開きで題材の文とイラストや、考えたり話し合ったりするポイントを枠囲みで示してある。(P14)	①全ての単元のまとめとして、枠囲みで学習のポイントが記されている。(4年P11など) ②5年「ひととふみ十年」では、高山植物や地名について写真や地図で説明されている。(P48) ③3年「おしゃべりすごろく」では、話し合うテーマをすごろく形式で取り上げ、見開きで示してある。(P10、11)	①全ての単元で、欄外に枠囲みで考えるポイントやまとめが示してある。(1年P10など) ②5年「世界文化遺産」では、日本各地の世界文化遺産が写真を用いて説明されている。(P84) ③1年「あいさつでげんきに」では、時間帯別の挨拶をイラストを用いて、見開きで示してある。(P12、13)	①2年「おらもちいになる」の「広げよう」のページでは、登場人物の生い立ちについてまとめている記述がある。(P84) ②3年「まっかな夕日」では、いろいろな雲の様子が写真で説明されている。(P58) ③1年「お正月」では、「ひろげよう」として、日本各地のお雑煮を、写真を使い、見開きで説明している。(P102、103)	①各単元の最後に学習のポイントやまとめが枠囲みで記されている。(5年P9など) ②3年「やくそくやきまりを守って」では、町中のきまり等について写真で説明されている。(P15) ③1年「みんなてつかうばしよのもの」では、公園での決まりやマナーについて、イラストを用いて見開きで示してある。(P34、35)
参 考	国旗・国歌の扱い	なし	あり	あり	なし	あり	なし	なし	なし
	防災や自然災害の扱い	なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし